SONY

4-129-337-**01**(1)

ウォータープルーフケース
Waterproof Case
Boîtier étanche
Aqty pack™

取扱説明書
Operating Instructions
Mode d’emploi
Manual de instrucciones
Gebruiksaanwijzing
Bruksanvisning
Bedienungsanleitung
Istruzioni per l’uso
Manual de instruções
Инструкция по эксплуатации
使用說明書
사용설명서
تعليمات التشغيل

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠注意

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

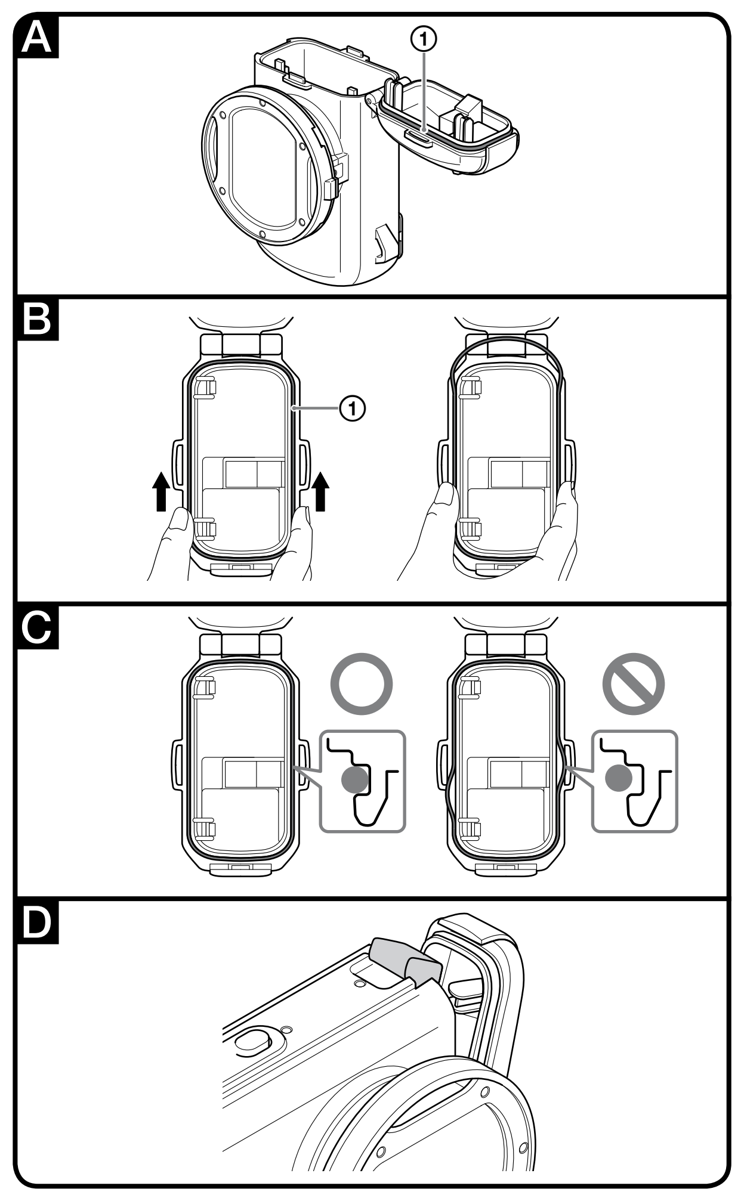
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

APK-WB

© 2009 Sony Corporation Printed in Japan

http://www.sony.net/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
Printed on 70% or more recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.



日本語

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する**

変な音やにおい、煙が出た場合は → ❶ 電源を切る ❷ ソニーの相談窓口に相談する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

⊘ 行為を禁止する記号 禁止
⚠ 行為を指示する記号 注意

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、**けが**をすることがあります。

衝撃を与えない
ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。 ⊘ 禁止

取り扱い上の注意

- フロントガラス面に強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 水辺や水上でのウォータープルーフケース（以下**本機**とする）の開閉は避けてください。デジタルスチルカメラ（以下**カメラ**とする）の取り付けや“メモリースティック デュオ”の交換などは、湿気の少ない室内で行ってください。
- 本機を水中に投げ込まないでください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
  - 高温多湿な場所
  - 40 ℃を越える温水の中
  - 0 ℃以下の場所

  結露や水漏れは、カメラの故障の原因になります。
- 周囲温度が35 ℃を超えるときのご使用は、連続30分以内にしてください。
- カメラを出し入れする際は、落下しないように充分ご注意ください。
- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- 本機に長時間収納して使用していると、カメラが熱くなります。日陰などの涼しい場所にしばらく放置してから、カメラを本機から取り出してください。
- カメラの温度が上がると自動的に電源が切れたり、撮影ができなくなることがあります。再度撮影するには、涼しい場所に放置してカメラの温度を下げてください。
- 水深1.5 mより深い場所で使用しないでください。

本機にサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、本機表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。

水漏れについて
万一本機内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。カメラがぬれた場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

Oリングの取り扱いかた

Oリングとは?
Oリング①を使ってケースなどの機器の防水性を保ちます。（イラストA参照）

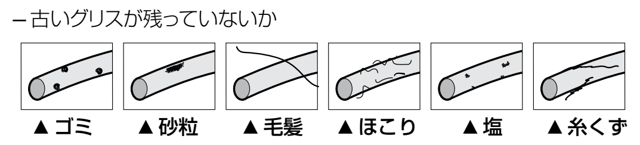
Oリングのメンテナンスは非常に重要です。正しく取り扱わないと、水漏れの原因になります。

Oリングの取り扱いかた

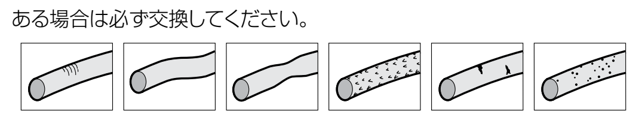
Oリングを取り付ける
Oリングの取り付けは、砂やほこりのない場所で行ってください。

1 **Oリング①を取りはずす（イラストB参照）**
- Oリングを取りはずすときは、図のようにOリングを軽く押さえつけながら、矢印の方向にずらしてください。Oリングにたるみができますので、簡単に取りはずすことができます。
  Oリングを取りはずす際、爪によってOリングを傷つけないようご注意ください。
- 先のとがったものや金属などは、本機の溝やOリングに傷をつける恐れがありますので、使用しないでください。

2 **Oリングを点検する**
- 以下の点を充分確認して、柔らかい布かティッシュペーパーで必ず取り除いてください。
  - ゴミ、砂粒、毛髪、ほこり、塩、糸くずなどが付着していないか
  - 古いグリスが残っていないか



- 目に見えないゴミなどが付着していることもあるので、指先で触って点検してください。
- Oリングを拭き取る際、布やティッシュペーパーの繊維が残らないように気をつけてください。
- Oリングにヒビ割れ、ゆがみ、つぶれ、ささくれ、傷、砂かみなどがないか確認し、ある場合は必ず交換してください。



3 **Oリングの溝を点検する**
砂粒や乾いて固まった塩が入りこんでいる場合があるので、エアースプレーで吹き飛ばしたり、綿棒を使って、丁寧に取り除いてください。綿棒の糸くずがはいらないように、ご注意ください。

4 **Oリングの反対側の接触面も同様に点検する**

5 **Oリングを溝に取り付ける**
以下の点に注意して、Oリングを溝に均等に入れてください。
- Oリングにゴミなどが付着していないか
- Oリングがねじれていないか（イラストC参照）

水漏れの確認方法
ご使用のカメラを収納する前に、本機を閉じて、水中（約15 cm）に約3分間沈めて、水漏れがないことを確認してください。

お手入れ
Oリングの溝に海水が入ったまま乾燥してしまうと、塩の結晶ができてしまい、Oリングの機能を損なう恐れがあります。

Oリングの耐用年数
本機の使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。傷やヒビがなくても変形や摩擦により、防水機能は落ちてきます。ヒビ割れやゆがみ、つぶれ、ささくれ、傷、砂かみなどの症状がでたら、新しいものと交換してください。
交換後に、水漏れしないことを確認してください。

乾燥剤について
- 付属の乾燥剤を撮影の1～2時間前に入れてください。
- 未使用の乾燥剤は袋に入れ、入り口を密封して保存してください。
- 乾燥剤は充分に乾燥させることにより、繰り返し約200回使用することができます。

Oリング、乾燥剤のお問い合わせ（ご購入について）
ソニーの相談窓口にご相談ください。
Oリング（番号4-116-279-0□）
乾燥剤（番号4-134-464-0□）

お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、カバーを開ける前に真水（水道水）で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- 本機内部は乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。

上記のお手入れは本機ご使用のたびに必ず行ってください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは
- Oリングの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。（イラストD参照）
- スペーサーを無くさないように保管してください。
- Oリングにホコリがつかないようにしてください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脳などを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。
それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

□ 本機内部に水滴がつく
→ Oリングに傷やヒビが入っている場合には、新しいものと交換する。
→ Oリングを正しく装着する。
→ カバーをカチッとロックされるまで閉める。
→ 充分に乾燥した乾燥剤を使う。

□ 撮影ができない
→ バッテリーを充分に充電する。
→“メモリースティック デュオ”の残量がない場合、別の“メモリースティック デュオ”を入れる。または不要なデータを消す。
→“メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを戻す。または別の“メモリースティック デュオ”を入れる。
→ カメラの温度が上がっていたら、カメラの温度が下がるまで涼しい場所に置く。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受けとりください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています
付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
●型名:APK-WB
●故障の状態:できるだけ詳しく
●お買い上げ日

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「401」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

English

Precautions

- Do not subject the front glass to strong shock, as it may crack.
- Avoid opening this waterproof case APK-WB (referred to below as “**this unit**”) near or on the water. Preparation such as installing the digital still camera (referred to below as “**camera**”) and changing the “Memory Stick Duo” media should be done indoors with low humidity.
- Do not throw this unit into the water.
- Avoid using this unit under the following situations:
  - in a very hot or humid place.
  - in water hotter than 40˚C (104˚F).
  - at temperatures lower than 0˚C (32˚F).

  In these situations moisture condensation or water leakage may occur and damage the camera.
- Use this unit for no longer than 30 minutes at a time in temperatures above 35˚C (95˚F).
- Be careful not to let the camera fall when removing it from or putting it in this unit.
- Do not leave this unit under direct sunlight in a very hot and humid place for a long period of time. If you cannot avoid leaving this unit under direct sunlight, be sure to cover this unit with a towel or other protection.
- The camera heats up if it is used inside this unit for a long time. Before removing the camera from this unit, leave this unit in the shade or other cool place for a while to cool down.
- When the camera overheats, it may automatically turn off or recording may malfunction. To use the camera again, leave it in the cool place for a while to cool down.
- Do not use this unit in depths below 1.5 m (5 feet).

If sun oil is on this unit, be sure to wash it off thoroughly using lukewarm water. If this unit is left with sun oil on its body, the surface of this unit may become discolored or damaged (such as cracks on the surface).

Water leakage
If water happens to leak in, stop exposing this unit to water immediately.
If the camera gets wet, take it to the nearest Sony dealer immediately.
Repair costs must be borne by the customer.

Handling the O-ring

What is the O-ring?
The O-ring ① ensures the waterproof qualities of this unit or other equipment. (See illustration A)

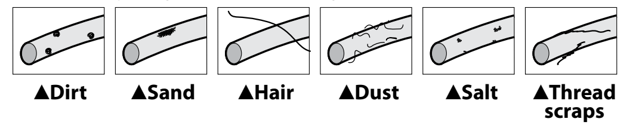
O-ring maintenance is very important. Failure to carry out O-ring maintenance according to the instructions may lead to water leakage and cause this unit to sink.

Handling the O-ring

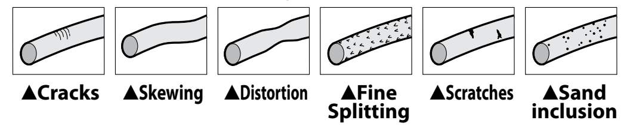
Fit the O-ring
Avoid fitting the O-ring in dusty or sandy locations.

1 **Remove the O-ring ①. (See illustration B)**
- To remove the O-ring, press it lightly and slide it in the direction of the arrow as illustrated. The O-ring has enough slack to be able to be removed easily. Be careful not to scratch the O-ring with your fingernail.
- Do not use a pointed or metal object to remove the O-ring. This kind of object may scratch or damage this unit groove or O-ring.

2 **Inspect the O-ring.**
- Check carefully for the following. If found, wipe off with a soft cloth or tissue paper.
  - Is there any dirt, sand, hair, dust, salt, thread scraps, etc. on the O-ring?
  - Is there any old grease on the O-ring?



- Lightly run your fingertip around the O-ring to check for any invisible dirt.
- Be careful not to leave any cloth or tissue paper fibers on the O-ring after wiping it.
- Check the O-ring for cracks, skewing, distortion, fine splitting, scratches, sand inclusion, etc. Replace the O-ring if it is cracked or scratched.



3 **Inspect the O-ring groove.**
Grains of sand or hardened salt sometimes get into the groove. Carefully remove them by blowing with an air spray or by wiping them with a cotton wool bud. Be careful not to leave any fibers from the cotton wool bud inside.

4 **Inspect the contact surface on the other side of the O-ring in the same way.**

5 **Fit the O-ring into the groove of this unit.**
Fit the O-ring evenly into the groove paying attention to the following points:
- Check for dirt on the O-ring.
- Check the O-ring is not twisted. (See illustration C)

How to check for O-ring
Before installing the camera into this unit, close this unit and immerse it in water to a depth of about 15 cm for about three minutes and check that no water leaks in.

Maintenance
If this unit is allowed to dry with sea water still in the O-ring groove, salt crystals form which may impair the O-ring’s functions.

O-ring serviceable life
The serviceable life of the O-ring varies with frequency of use of this unit and conditions. Generally, it is about one year.
Even if the O-ring is not cracked or scratched, deformation or wear reduces its waterproof qualities. Replace the O-ring with a new one if you find cracks, skewing, distortion, fine splitting, scratches, sand inclusion, etc.
After replacing, check that no water leaks in.

Desiccant
- Place the supplied desiccant inside this unit one or two hours before shooting.
- Store the unused desiccant in its original bag and keep the bag firmly closed.
- By adequately drying the desiccant, it can be used about 200 times.

O-ring and desiccant
You can obtain the O-ring and desiccant at the nearest Sony dealer.
O-ring (model No. 4-116-279-0□)
Desiccant (model No. 4-134-464-0□)

Maintenance

- After recording in a location with a sea breeze, wash this unit thoroughly in fresh water with the cover closed to remove salt and sand, then wipe with a soft dry cloth.
- If sun oil is on this unit, be sure to wash it off thoroughly using lukewarm water.
- Clean the inside of this unit with a soft dry cloth. Do not wash the inside of this unit.

Be sure to perform the above maintenance each time you use this unit.
Do not use any type of solvent such as alcohol, benzine or thinner for cleaning, as this might damage the surface finish of this unit.

When storing this unit
- Attach the spacer supplied with this unit to prevent wear of the O-ring. (See illustration D)
- Set aside the spacer for storing this unit.
- Prevent dust from collecting on the O-ring.
- Avoid storing this unit in a cold, very hot or humid place, or together with naphthalene or camphor, as these conditions might damage the unit.

Troubleshooting

Symptom	Cause/Corrective Actions
There are drops of water inside this unit.	• There are scratches or cracks on the O-ring. → Replace the O-ring with a new one. • The O-ring is not set correctly. → Place the O-ring evenly in the groove. • The cover is not closed firmly. → Close the cover until it clicks. • Desiccant is not dried adequately. → Use the adequately dried desiccant.
The recording function does not work.	• The battery pack has run out. → Charge the battery pack fully. • The “Memory Stick Duo” media is full. → Insert another “Memory Stick Duo” media or erase unneeded data from the “Memory Stick Duo” media. • The write-protect tab on the “Memory Stick Duo” media is set to LOCK. → Set the tab to the recording position or insert a new “Memory Stick Duo” media. • The camera heats up. → Leave the camera in the cool place for a while to cool down.

Français

Précautions

- Ne soumettez pas la vitre avant à des chocs trop forts, car elle pourrait se briser.
- Évitez d’ouvrir le boîtier étanche APK-WB (appelé ci-dessous « **ce boîtier** ») à proximité de l’eau ou sur l’eau. Les préparatifs, comme la mise en place de l’appareil photo numérique (appelé ci-dessous « **l’appareil photo** ») et le changement de « Memory Stick Duo », doivent être effectués dans une pièce peu humide et non pas en plein air.
- Ne pas jeter ce boîtier dans l’eau.
- Ne pas utiliser ce boîtier dans les situations suivantes :
  - à un endroit très chaud ou humide ;
  - dans une eau à plus de 40˚C (104˚F);
  - à des températures inférieures à 0˚C (32˚F).

  Dans de telles situations, le matériel peut être endommagé par la condensation d’humidité ou les infiltrations d’eau.
- Ne pas utiliser ce boîtier pendant plus de 30 minutes à des températures supérieures à 35˚C (95˚F).
- Attention de ne pas laisser tomber l’appareil photo lorsque vous le retirez ou le mettez dans ce boîtier.
- Ne pas laisser ce boîtier en plein soleil à un endroit très chaud et humide pendant longtemps. Si ce boîtier doit rester longtemps exposé au soleil, veillez à le recouvrir d’une serviette ou d’un vêtement quelconque.
- L’appareil photo devient chaud s’il est utilisé pendant un certain temps avec ce boîtier. Avant de retirer l’appareil photo de ce boîtier, laissez ce boîtier un moment à l’ombre ou à un endroit frais pour qu’il refroidisse.
- Lorsque l’appareil photo est trop chaud, il peut s’éteindre ou l’enregistrement peut ne pas s’effectuer normalement. Laissez l’appareil photo un moment à un endroit frais avant de le réutiliser.
- N’utilisez pas ce boîtier à plus de 1,5 m de profondeur.

Si de l’huile solaire devait tomber sur ce boîtier, prenez soin de l’enlever avec de l’eau tiède.
Si vous laissez ce boîtier avec des taches d’huile au soleil, sa surface risque de se décolorer ou d’être endommagée (elle peut se craqueler).

Infiltration d’eau
Si de l’eau devait pénétrer dans ce boîtier, retirez-le immédiatement de l’eau.
Si l’appareil photo devait être mouillé, portez-le immédiatement au revendeur Sony le plus proche.
Les frais de réparation sont à la charge du client.

Entretien du joint torique

Qu’est-ce que le joint torique ?
Le joint torique ① assure l’étanchéité de ce boîtier et de l’appareil qu’il contient. (Voir l’illustration A)

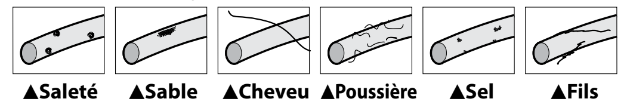
L’entretien du joint torique est très important. De l’eau risque de pénétrer à l’intérieur de ce boîtier et de le faire couler si vous ne nettoyez pas correctement le joint torique.

Entretien du joint torique

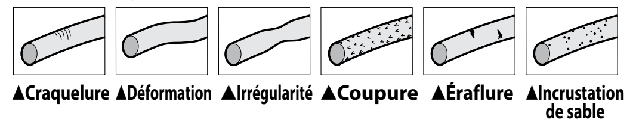
Mise en place du joint torique
Évitez de mettre le joint torique en place à un endroit poussiéreux ou sableux.

1 **Retirez le joint torique ①. (Voir l’illustration B)**
- Pour retirer le joint torique, appuyez légèrement dessus, puis faites-le glisser dans le sens de la flèche, comme indiqué sur l’illustration. Le joint torique est suffisamment souple pour être facilement retiré.
  Veillez à ne pas abîmer le joint torique avec vos ongles.
- N’utilisez pas d’objet pointu ou métallique pour retirer le joint torique. Ce type d’objet risque de rayer ou d’endommager la rainure de ce boîtier ou le joint torique.

2 **Inspectez le joint torique.**
- Vérifiez soigneusement les points suivants. Si nécessaire, essuyez le joint torique avec un chiffon doux ou un mouchoir en papier.
  - Présence de saletés, grains de sable, cheveux, poussière, sel, fils, etc. sur le joint torique ?
  - Présence de vieille graisse sur le joint torique ?



- Passez légèrement votre doigt sur le joint torique pour repérer les saletés invisibles.
- Veillez à ne pas laisser de fibres de tissu ou de papier sur le joint torique après l’avoir nettoyé.
- Assurez-vous que le joint torique ne présente aucune craquelure, déformation, irrégularité, coupure, éraflure, incrustation de sable, etc. Remplacez-le s’il est craquelé ou rayé.



3 **Inspectez la rainure du joint torique.**
Des grains de sable ou de sel s’incrustent parfois dans la rainure. Retirez-les soigneusement à l’aide d’un pulvérisateur à air ou essuyez-le avec un disque de coton. Veillez à ne pas laisser de fibres de coton à l’intérieur.

4 **Inspectez de la même manière la surface en contact avec l’autre côté du joint torique.**

5 **Insérez le joint torique dans la rainure de ce boîtier.**
Insérez le joint torique uniformément dans la rainure en prêtant attention aux points suivants :
- Assurez-vous qu’il n’y a pas de saleté sur le joint torique.
- Assurez-vous que le joint torique n’est pas tordu. (Voir l’illustration C)

Comment vérifier le joint torique
Avant d’installer l’appareil photo dans ce boîtier, fermez ce boîtier et plongez-le environ trois minutes dans à peu près 15 cm d’eau et vérifiez si l’eau ne pénètre pas à l’intérieur.

Entretien
Si vous laissez sécher ce boîtier sans enlever l’eau de mer de la rainure du joint torique, des cristaux de sel se formeront et réduiront l’étanchéité du joint torique.

Durée de vie du joint torique
La durée de vie du joint torique varie selon la fréquence et les conditions d’utilisation de ce boîtier. Le joint torique dure un an environ.
Même si le joint torique n’est ni craquelé ni rayé, toute déformation ou usure réduit ses qualités d’étanchéité. Remplacez le joint torique par un nouveau s’il présente des craquelures, déformations, irrégularités, coupures, rayures, incrustations de sable, etc.
Une fois le remplacement effectué, assurez-vous qu’il n’y a aucune infiltration d’eau.

Dessiccatif
- Mettez le dessiccatif fourni dans ce boîtier une ou deux heures avant la prise de vue.
- Rangez le reste du dessiccatif dans son emballage d’origine et fermez bien celui-ci.
- Le dessiccatif peut être utilisé 200 fois si vous le séchez convenablement après chaque usage.

Joint torique et dessiccatif
Vous pouvez vous procurer un joint torique et du dessiccatif auprès du revendeur Sony le plus proche.
Joint torique (modèle No. 4-116-279-0□)
Dessiccatif (modèle No. 4-134-464-0□)

Entretien

- Après une prise de vue à un endroit exposé à la brise marine, lavez soigneusement ce boîtier à l’eau douce, en laissant les fermoirs bien verrouillés, pour enlever le sel et le sable, puis essuyez-le avec un chiffon doux et sec.
- Si de l’huile solaire devait tomber sur ce boîtier, prenez soin de l’enlever avec de l’eau tiède.
- Nettoyez l’intérieur de ce boîtier avec un chiffon doux et sec. Ne lavez pas l’intérieur de ce boîtier.

Effectuez toutes ces opérations chaque fois que vous utilisez ce boîtier.
N’utilisez pas de solvant, comme de l’alcool, de la benzine ou du diluant pour le nettoyage, car ces substances peuvent attaquer la finition de ce boîtier.

Avant de ranger ce boîtier
- Fixez l’entretoise fournie avec ce boîtier pour que le joint torique ne s’use pas. (Voir l’illustration D)
- Mettez l’entretoise avant de ranger ce boîtier.
- Eviter d’exposer le joint torique à la poussière.
- Ne rangez pas ce boîtier à un endroit froid, très chaud ou humide, ou à proximité de naphtaline ou de camphre. Cela pourrait l’endommager.

Résolution de problèmes

Symptôme	Cause/Mesures à prendre
Il y a des gouttelettes d’eau dans ce boîtier.	• Le joint torique présente des craquelures ou des rayures. → Remplacez le joint torique par un neuf. • Le joint torique n’a pas été mis en place correctement. → Placez le joint torique uniformément dans la rainure. • Le couvercle n’est pas bien fermé. → Fermez le couvercle de sorte qu’il s’encliquette. • Le dessiccatif n’est pas suffisamment sec. → Utilisez du dessiccatif sec.
La prise de vue n’est pas possible.	• La batterie est épuisée. → Rechargez complètement la batterie. • Le « Memory Stick Duo » est plein. → Insérez un autre « Memory Stick Duo » ou effacez les données inutiles du « Memory Stick Duo ». • L’onglet de protection du « Memory Stick Duo » est en position LOCK. → Mettez l’onglet en position d’enregistrement ou insérez un nouveau « Memory Stick Duo ». • L’appareil photo est chaud. → Laissez l’appareil photo refroidir en le mettant un instant à un endroit frais.

Español

Precauciones

- No someta el vidrio frontal a golpes fuertes, ya que podría rajarse.
- Evite abrir esta funda resistente al agua APK-WB (en adelante “**esta unidad**”) cerca del agua o en ella. Los preparativos tales como la instalación de la cámara fotográfica digital (en adelante “**cámara**”) y el cambio del medio “Memory Stick Duo” deberán realizarse en interiores con baja humedad.
- No arroje esta unidad al agua.
- Evite utilizar esta unidad en las situaciones siguientes:
  - en un lugar muy cálido o húmedo.
  - en agua con temperatura superior a 40 °C
  - a temperaturas inferiores a 0˚C

  En estas situaciones podría condensarse humedad o infiltrarse agua, y la unidad podría dañarse.
- Utilice esta unidad durante no más de 30 minutos cada vez a temperaturas superiores a 35˚C
- Tenga cuidado de no dejar caer la cámara cuando la extraiga de esta unidad o la instale en ella.
- No deje esta unidad bajo la luz solar directa en un lugar muy cálido y húmedo durante mucho tiempo. Si no puede evitar dejar esta unidad bajo la luz solar directa, cerciórese de cubrirla con una toalla u otro tipo de material protector.
- La cámara se calentará cuando se utilice durante mucho tiempo dentro de esta unidad. Antes de extraer la cámara de esta unidad, deje esta unidad a la sombra o en otro lugar fresco durante cierto tiempo para que se enfríe.
- Cuando la cámara se recaliente, puede apagarse automáticamente o la grabación puede funcionar mal. Para volver a utilizar la cámara, déjela en un lugar fresco durante cierto tiempo para que se enfríe.
- No utilice esta unidad a profundidades superiores a 1,5 m

Si esta unidad entra en contacto con aceite bronceador, lávela bien con agua cálida.
Si dejase la unidad con aceite bronceador en el cuerpo de la misma, su superficie podría decolorar o dañarse (como, por ejemplo, rajas en la superficie).

Infiltración de agua
Si se infiltra agua, deje inmediatamente de exponer esta unidad al agua.
Si la videocámara se moja, llévela inmediatamente a su proveedor Sony más próximo.
El coste de las reparaciones tendrá que abonarlo el usuario.

Manejo de la junta tórica

¿Qué es la junta tórica?
La junta tórica ① asegura las propiedades de impermeabilidad de esta unidad u otros equipos. (Consulte la ilustración A)

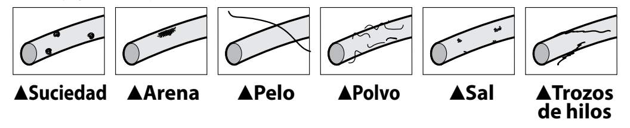
El mantenimiento de la junta tórica es muy importante. Si no realizase el mantenimiento de la junta tórica de acuerdo con las instrucciones, podría producirse la infiltración de agua y hacer que esta unidad se hundiese.

Manejo de la junta tórica

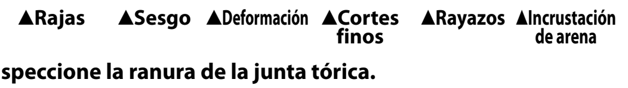
Fijación de la junta tórica
Evite fijar la junta tórica en lugares polvorientos o arenosos.

1 **Quite la junta tórica ①. (Consulte la ilustración B)**
- Para quitar la junta tórica, presiónela ligeramente y deslícela en el sentido de la flecha, como se muestra en la ilustración. La junta tórica tiene holgura suficiente como para poder quitarse con facilidad.
  Tenga cuidado de no rayar la junta tórica con sus dedos.
- No utilice objetos puntiagudos ni metálicos para quitar la junta tórica. Este tipo de objetos podría rayar o dañar la ranura de esta unidad o la junta tórica.

2 **Inspeccione la junta tórica.**
- Compruebe cuidadosamente lo siguiente. Si encuentra algo, limpie la junta tórica con un paño suave o un pañuelo de papel.
  - ¿Hay suciedad, arena, pelos, polvo, sal, trozos de hilos, etc., en la junta tórica?
  - ¿Hay grasa vieja en la junta tórica?



- Pase ligeramente la punta de sus dedos por la junta tórica para poder detectar suciedad invisible.
- Tenga cuidado de no dejar ninguna hilacha ni fibras de papel en la junta tórica después de haberla limpiado.
- Compruebe que la junta tórica no esté rajada, sesgada, deformada, con cortes finos, rayada, con arena incrustada, etc. Si está rajada o rayada, reemplácela.



3 **Inspeccione la ranura de la junta tórica.**
Es posible que en la ranura entren granos de arena o que se solidifique sal. Elimine cuidadosamente estas materias soplando con un aerosol o frotando con un palillo de cabeza de algodón. Tenga cuidado de no dejar fibras del palillo de algodón en el interior de la ranura.

4 **Inspeccione, de la misma forma, la superficie de contacto del otro lado de la junta tórica.**

5 **Fije la junta tórica en la ranura de esta unidad.**
Fije uniformemente la junta tórica en la ranura prestando atención a los puntos siguientes:
- Compruebe que no haya suciedad en la junta tórica.
- Compruebe que la junta tórica no esté retorcida. (Consulte la ilustración C)

Cómo comprobar la junta tórica
Antes de instalar la cámara en esta unidad, cierre esta unidad y sumérjala en agua hasta una profundidad de unos 15 cm durante aproximadamente tres minutos, y compruebe si se infiltra agua.

Mantenimiento
Si dejase que esta unidad se secase con agua salada en la ranura de la junta tórica, los cristales de sal formados podrían desvirtuar las funciones de dicha junta tórica.

Duración útil de la junta tórica
La duración útil de la junta tórica variará con la frecuencia de utilización de esta unidad y las condiciones. En general, durará aproximadamente un año.
Aunque la junta tórica no esté rajada ni rayada, la deformación o el desgaste reducirá sus características de impermeabilidad. Reemplace la junta tórica por otra nueva si encuentra en ella rajas, sesgo, deformación, cortes finos, rayazos, incrustación de arena, etc.
Después de haberla reemplazado, compruebe que no haya infiltración de agua.

Desecador
- Coloque el desecador suministrado en el interior de esta unidad una o dos horas antes de tomar imágenes.
- Guarde el desecador restante en su bolsa original, y mantenga la bolsa bien cerrada.
- Secando adecuadamente el desecador, podrá utilizarse unas 200 veces.

Junta tórica y desecador
Usted podrá adquirir juntas tóricas y desecador en el distribuidor Sony más próximo.
Junta tórica (Núm. de modelo 4-116-279-0□)
Desecador (Núm. de modelo 4-134-464-0□)

Mantenimiento

- Después de haber grabado en un lugar con brisa del mar, lave bien esta unidad con agua dulce, con la cubierta cerrada para eliminar la sal y la arena, y después frótela con un paño suave y seco.
- Si esta unidad entra en contacto con aceite bronceador, lávela bien con agua cálida.
- Limpie el interior de esta unidad con un paño suave y seco. No lave el interior de esta unidad.

Cerciórese de realizar el mantenimiento indicado arriba cada vez que utilice esta unidad.
No utilice ningún tipo de disolvente, como alcohol, bencina, ni diluyente de pintura para la limpieza, ya que podría dañar el acabado de la superficie de esta unidad.

Para almacenar esta unidad
- Fije el espaciador suministrado con esta unidad para evitar el desgaste de la junta tórica. (Consulte la ilustración D)
- Conserve el espaciador para almacenar esta unidad.
- Evite que se acumule polvo en la junta tórica.
- Evite almacenar esta unidad en un lugar frío, muy cálido o húmedo, o junto con naftalina o alcanfor, ya que en estas condiciones podría dañarse la unidad.

Solución de problemas

Síntoma	Causa/Soluciones
Hay gotas de agua en el interior de esta unidad.	• La junta tórica está rayada o rajada. → Reemplace la junta tórica por otra nueva. • La junta tórica no está correctamente colocada. → Coloque uniformemente la junta tórica en la ranura. • La cubierta no está firmemente cerrada. → Cierre firmemente la cubierta hasta que chasquee. • El desecador no está adecuadamente secado. → Utilice un desecador adecuadamente secado.
La función de grabación no trabaja.	• La batería está agotada. → Cargue completamente la batería. • El medio “Memory Stick Duo” está lleno. → Inserte otro medio “Memory Stick Duo” o borre los datos innecesarios de la “Memory Stick Duo”. • La lengüeta de protección contra escritura del medio “Memory Stick Duo” está puesta en LOCK. → Ponga la lengüeta en la posición para grabación o inserte un nuevo medio “Memory Stick Duo.” • La cámara se ha calentado. → Deje la cámara en un lugar fresco durante cierto tiempo para que se enfríe.

Nederlands

Voorzorgsmaatregelen

- Stel het glas aan de voorkant niet bloot aan sterke trillingen. Het glas kan hierdoor barsten.
- Vermijd het openen van de waterdichte tas APK-WB (hierna "**tas**" genoemd) bij of op het water. Voorbereiding zoals het installeren van de digitale camera (hierna "**camera**" genoemd) en het wijzigen van de "Memory Stick Duo" moet binnen gebeuren met weinig vochtigheid.
- Gooi de tas niet in het water.
- Gebruik de tas niet onder de volgende omstandigheden:
  - op zeer warme of vochtige plaatsen.
  - in water met een temperatuur boven de 40 ˚C.
  - bij temperaturen beneden de 0 ˚C.

  Onder deze omstandigheden kan vochtcondensatie of waterlekkage optreden en kan de camera worden beschadigd.
- Bij temperaturen boven de 35 ˚C mag u de tas niet langer dan 30 minuten boven de 35˚C zijn.
- Laat de camera niet vallen als u deze in de tas plaatst of eruit verwijdert.
- Laat de tas niet langere tijd in direct zonlicht, in een zeer hete en vochtige plaats. Als u de tas toch in direct zonlicht laat liggen, moet u de tas bedekken met een handdoek of een andere bescherming.
- De camera wordt warm als deze langere tijd in de tas wordt gebruikt. Voordat u de camera uit deze tas haalt, dient u de tas in de schaduw of op een koele plaats te houden tot deze is afgekoeld.
- Als de camera oververhit raakt, kan deze automatisch uitschakelen of kunnen uw opnamen mislukken. Om de camera weer te gebruiken dient u deze even op een koele plaats te houden om af te laten koelen.
- Gebruik de tas niet op een diepte van meer dan 1,5 m.

Als er zonnebrandolie op de tas komt, moet u de behuizing goed reinigen met lauw water.
Als er zonnebrandolie achterblijft op de tas, kan de oppervlakte verkleuren of beschadigen (zoals scheurtjes in het oppervlak).

Waterlekkage
Als er waterlekkage optreedt moet u de tas niet langer aan water blootstellen.
Als de camera nat wordt, brengt u deze direct naar de dichtstbijzijnde dealer van Sony.
De klant moet eventuele reparatiekosten betalen.

De O-ring gebruiken

Wat is de O-ring?
De O-ring ① zorgt ervoor dat de tas of andere apparatuur tegen water wordt beschermd. (zie afbeelding A)

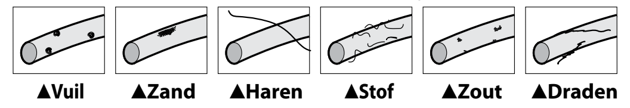
Het is erg belangrijk dat u de O-ring goed onderhoudt. Als u de O-ring niet goed onderhoudt op de manier die in de gebruiksaanwijzing wordt aangegeven, kan er water in de behuizing lekken en kan de tas zinken.

De O-ring gebruiken

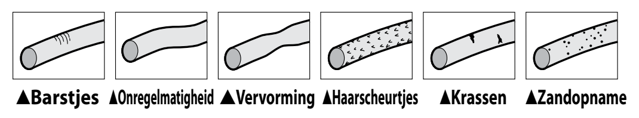
De O-ring aanbrengen
Breng de O-ring niet aan op locaties met veel stof of zand.

1 **Verwijder de O-ring ①. (Zie afbeelding B)**
- Als u de O-ring wilt verwijderen drukt u lichtjes op de ring en schuift u deze in de richting van de pijl, zoals in de afbeelding wordt aangegeven. De O-ring heeft genoeg speling zodat u deze gemakkelijk kunt verwijderen.
  Zorg dat u met uw nagel geen krassen op de O-ring maakt.
- Verwijder de O-ring niet met een puntig of metalen voorwerp. U kunt hiermee krassen op de groef van de tas of de O-ring maken of deze beschadigen.

2 **Controleer de O-ring.**
- Controleer zorgvuldig of er vuil aanwezig is. Is dit het geval dan moet u het vuil verwijderen met een zachte doek of een papieren zakdoekje.
  - Bevinden er zich vuil, zand, haren, stof, zout, draadjes, enzovoorts op de O-ring?
  - Bevinden er zich resten smeervet op de O-ring?



- Ga voorzichtig met uw vingertop over de O-ring om te controleren op vuil dat niet zichtbaar is.
- Zorg dat er geen resten van een doek of papieren zakdoekje achterblijven op de O-ring nadat u de pakking hebt schoongemaakt.
- Controleer de O-ring op barstjes, onregelmatigheid, vervorming, haarscheurtjes, zand, enzovoorts. Vervang de O-ring als deze gebarsten of bekrast is.



3 **Controleer de groef van de O-ring.**
Zandkorrels of opgedroogd zout kunnen soms in de groef terechtkomen. Blaas het zand en zout weg met een verstuiver of veeg het weg met een wattenstaafje. Zorg dat er geen resten van het wattenstaafje achterblijven.

4 **Controleer op dezelfde manier het contactgedeelte aan de andere kant van de O-ring.**

5 **Plaats de O-ring in de groef van de tas.**
Plaats de O-ring gelijkmatig in de groef en let met name op de volgende punten:
- Controleer op stof op de O-ring.
- Controleer of de O-ring niet is gedraaid. (zie afbeelding C)

De O-ring controleren
Voordat u de camera in de tas installeert, houd u de tas ongeveer drie minuten 15 cm onder water en controleer of er geen water in de behuizing lekt.

Onderhoud
Als u de tas laat opdrogen met zout water in de groef van de O-ring, kan er zout kristalliseren waardoor de functies van de O-ring kunnen verminderen.

Gebruiksduur van de O-ring
De gebruiksduur van de O-ring verschilt, afhankelijk van hoe vaak en onder welke omstandigheden u de tas gebruikt. De gebruiksduur is over het algemeen één jaar.
Zelfs als de O-ring niet gebarsten of bekrast is, neemt de waterdichtheid van de O-ring toch af door vervorming en slijtage. Vervang de O-ring door een nieuwe als u barstjes, onregelmatigheid, vervorming, haarscheurtjes, krassen of zand aantreft.
Als u de O-ring hebt vervangen, controleert u of er geen water in lekt.

Droogmiddel
- Plaats het meegeleverde droogmiddel in deze tas een of twee uur voor de opname.
- Bewaar het resterende droogmiddel in de oorspronkelijke verpakking en houd deze goed gesloten.
- Door het droogmiddel goed te drogen, kan het tot 200 keer worden gebruikt.

O-ring en droogmiddel
De O-ring en het droogmiddel zijn verkrijgbaar bij de dichtstbijzijnde Sony-handelaar.
O-ring (modelnummer. 4-116-279-0□)
Droogmiddel (modelnummer. 4-134-464-0□)

Onderhoud

- Wanneer u opnamen hebt gemaakt in een omgeving met zeewind, moet u de tas goed uitwassen met zoet water om zout en zand te verwijderen. Hierbij moet de klep gesloten zijn. Veeg de behuizing af met een zachte, droge doek.
- Als er zonnebrandolie op de tas komt, moet u de behuizing goed reinigen met lauw water.
- Reinig de binnenkant van de tas met een zachte, droge doek. Maak de binnenkant van de tas niet nat.

Voer het bovenstaande onderhoud altijd uit als u de tas gebruikt.
Gebruik geen oplosmiddelen, zoals alcohol, benzine of thinner, omdat deze het oppervlak van de tas kunnen beschadigen.

Opbergen van de tas
- Bevestig het boei die bij de tas wordt geleverd om slijtage van de O-ring te voorkomen. (Zie afbeelding D)
- Zet de boei terzijde om de tas op te bergen.
- Zorg dat er geen stof op de O-ring terechtkomt.
- Bewaar de tas niet op een koude, zeer hete of vochtige plaats of samen met naftaleen of kamfer. Hierdoor kan de tas worden beschadigd.

Problemen oplossen

Probleem	Oplossing/correctieve maatregel
Er zitten druppels water in de tas.	• De O-ring is bekrast of gescheurd. → Vervang de O-ring voor een nieuwe. • De O-ring is niet juist aangebracht. → Plaats de O-ring gelijkmatig in de groef. • De klep zit niet goed dicht. → Sluit het tot u een klik hoort. • Het droogmiddel is niet goed droog. → Gebruik goed gedroogd droogmiddel.
De opnamefunctie werkt niet.	• De accu is leeg. → Laad de accu volledig op. • De "Memory Stick Duo" is vol. → Plaats een andere "Memory Stick Duo" in de camera of verwijder ongewenste gegevens van de "Memory Stick Duo". • Het schrijfbeschermingslipje op de "Memory Stick Duo" is ingesteld op LOCK. → Zet het lipje in de opnamepositie of plaats een nieuwe "Memory Stick Duo." • De camera wordt warm. → Om de camera te gebruiken dient u deze even op een koele plaats te houden om af te laten koelen.

Svenska

Försiktighetsmått

- Utsätt inte frontglaset för kraftiga stötar, eftersom det kan spricka.
- Undvik att öppna detta vattentäta fodral APK-WB (nedan kallat ”**denna enhet**”) nära vatten eller ovanför vattenytan. Förberedelser såsom installation av den digitala stillbildskameran (nedan kallad ”**kamera**”) och byte av ”Memory Stick Duo” ska göras inomhus med låg luftfuktighet.
- Kasta inte denna enhet ner i vattnet.
- Undvik att använda denna enhet under följande förhållanden:
  - i extremt varma eller fuktiga miljöer.
  - i vatten varmare än 40˚C.
  - vid temperaturer lägre än 0˚C.

  Under sådana förhållanden kan det bildas kondens eller uppstå läckage som skadar kameran.
- Använd inte denna enhet mer än 30 minuter i taget vid temperaturer över 35˚C.
- Var försiktig så att inte kameran tappas när den tas ut ur eller sätts in i denna enhet.
- Låt inte denna enhet ligga i direkt solljus på en mycket varm och fuktig plats under längre perioder. Om det inte går att undvika att denna enhet ligger i solen, ska denna enhet täckas över med en handduk eller annat skydd.
- Kameran blir varm om den används inuti denna enhet en längre stund. Innan kameran tas ut ur denna enhet, låt denna enhet ligga i skuggan eller på annan sval plats en stund så att den svalnar.
- När kameran blir för varm, kan det hända att den stängs av automatiskt eller att inspelning inte fungerar rätt. Om kameran ska användas igen, låt den först svalna en stund på ett svalt ställe.
- Använd inte denna enhet på lägre djup än 1,5 m.

Om sololja skulle råka komma på denna enhet, ska den sköljas bort med ljummet vatten.
Om denna enhet lämnas med sololja på höljet, kan ytan på denna enhet missfärgas eller skadas (t.ex. kan sprickor på ytan uppstå).

Vattenläckage
Om vatten skulle läcka in måste denna enhet genast flyttas till ett torrt ställe.
Om kameran blivit våt bör du genast ta den till närmaste Sony-återförsäljare.
Kunden måste själv stå för reparationskostnaderna.

Använda O-ringen

Vad är en O-ring?
O-ringen ① tillförsäkrar att denna enhet eller annan utrusning hålls garanterat vattentätt. (se illustration A)

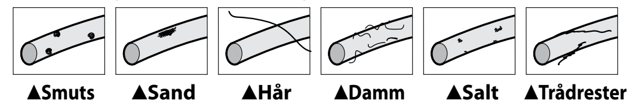
Underhåll av O-ringen är av största vikt. Underlåtelse att utföra underhåll av O-ringen i enlighet med anvisningarna kan leda till vattenläckage och orsaka att denna enhet sjunker.

Använda O-ringen

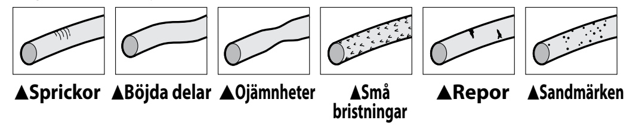
Montera O-ringen
Undvik att montera O-ringen på platser med damm eller sand.

1 **Tag av O-ringen ①. (se illustration B)**
- Tag av O-ringen genom att pressa lätt och skjuta den i pilens riktning såsom visas. O-ringen sitter tillräckligt löst för att enkelt kunna tas av.
  Var försiktig med naglarna så att O-ringen inte repas.
- Använd inte något spetsigt föremål eller metallföremål för att ta av O-ringen. Sådana föremål kan repa eller skada spåret i denna enhet eller O-ringen.

2 **Inspektera O-ringen.**
- Kontrollera noggrant följande. Torka rent med en mjuk trasa eller mjukt papper om något av följande hittas.
  - Finns det smuts, sand, hårstrån, damm, salt, trådrester eller liknande på O-ringen?
  - Finns det gammalt fett på O-ringen?



- Stryk lätt med fingerspetsen runt O-ringen för att kontrollera om det finns smuts som inte syns.
- Var noga med att inga tyg- eller pappersrester finns kvar på O-ringen efter att ha torkat av den.
- Kontrollera att det inte finns några sprickor, böjda delar, ojämnheter, små bristningar, repor, sandmärken etc. Om det finns sprickor eller repor på O-ringen ska den bytas ut.



3 **Inspektera O-ringspåret.**
Ibland kan sandkorn eller saltbildningar tränga in i spåret. Avlägsna noggrant allt sådant genom att blåsa med luftspray eller genom att torka av med bomullspinnar. Se till att inga fiberrester från bomullspinnen finns kvar på insidan.

4 **Inspektera på samma sätt kontaktytan på motsatta sidan av O-ringen.**

5 **Passa in O-ringen i spåret på denna enhet.**
Passa in O-ringen jämnt i spåret och var uppmärksam på följande punkter:
- Kontrollera att det inte finns smuts på O-ringen.
- Kontrollera att O-ringen inte har vridit sig. (se illustration C)

Hur O-ringen kontrolleras
Innan kameran installeras i denna enhet, stäng denna enhet och sänk den i vatten till ett djup på cirka 15 cm och håll den nersänkt i cirka 3 minuter. Kontrollera att inget vatten läcker in.

Underhåll
Om denna enhet får torka med saltvatten i O-ringspåret, kan det bildas saltkristaller vilket kan försämra O-ringens funktion.

O-ringens livslängd
Livslängden för O-ringen varierar beroende på hur ofta denna enhet används och under vilka förhållanden den används. I allmänhet varar den cirka ett års tid.
Även om O-ringen inte har några sprickor eller repor kan formförändringar och slitage göra att vattentätheten försämras. Byt ut O-ringen mot en ny om du upptäcker sprickor, böjda delar, ojämnheter, små bristningar, repor, sandmärken etc.
Kontrollera att inget vatten läcker in efter byte.

Torkmedel
- Det medföljande torkmedlet placeras inuti denna enhet en eller två timmar före tagning.
- Förvara oanvänt torkmedel i originalförpackningen och håll förpackningen ordentligt försluten.
- Genom att låta torkmedlet torka tillräckligt, kan åter användas runt 200 gånger.

O-ring och torkmedel
O-ring och torkmedel kan skaffas från närmaste Sony-återförsäljare.
O-ring (modellnr 4-116-279-0□)
Torkmedel (modellnr 4-134-464-0□)

Underhåll

- Efter inspelning på en plats med havsluft, ska denna enhet tvättas i sötvatten med locket stängt för att få bort salt och sand. Torka sedan torrt med en mjuk, torr trasa.
- Om sololja skulle råka komma på denna enhet, ska den sköljas bort med ljummet vatten.
- Rengör insidan av denna enhet med en mjuk, torr trasa. Insidan av denna enhet ska inte tvättas med vatten.

Se till att utföra ovanstående underhåll varje gång denna enhet har använts.
Använd inte någon typ av lösningsmedel som t.ex. alkohol, tvättbensin eller thinner vid rengöring eftersom det kan skada ytfinishen på denna enhet.

Förvaring av denna enhet
- Sätt på mellanlägget som medföljer denna enhet för att förhindra slitage av O-ringen. (se illustration D)
- Lägg undan mellanlägget eftersom det används vid förvaring av denna enhet.
- Skydda O-ringen från damm.
- Undvik att förvara denna enhet på en kall, mycket varm eller fuktig plats, eller tillsammans med naftalin eller kamfer, eftersom sådana förhållanden kan skada enheten.

Felsökning

Problem	Orsak/Åtgärder
Det finns vattendroppar inuti denna enhet.	• Det finns repor eller sprickor på O-ringen. → Byt ut O-ringen mot en ny. • O-ringen är inte korrekt isatt. → Sätt O-ringen jämnt i spåret. • Locket är inte ordentligt stängt. → Stäng locket tills det klickar på plats. • Torkmedlet har inte torkats tillräckligt. → Använd ett torkmedel som fått torka tillräckligt.
Inspelningsfunktionen fungerar inte.	• Batteriet har laddats ur. → Fulladda batteriet. • ”Memory Stick Duo” är fullt. → Sätt i ett annat ”Memory Stick Duo” eller radera data som inte behövs från ”Memory Stick Duo”. • Skrivskyddsfliken på ”Memory Stick Duo” står på LOCK. → Ställ fliken i inspelningsläget eller sätt i en ny ”Memory Stick Duo.” • Kameran blir varm. → Låt kameran ligga på ett svalt ställe en stund så att den svalnar.

Deutsch

Vorsichtsmaßnahmen

- Stoßen Sie mit dem Frontglas nirgends an, da es sonst beschädigt werden kann.
- Öffnen Sie nicht dieses wasserfeste Gehäuse APK-WB (im Folgenden als referred to below as „**dieses Teil**“ bezeichnet) in der Nähe von Wasser oder auf dem Wasser. Vorbereitungen wie Installieren der Digitalkamera (im Folgenden als „**Kamera**“ bezeichnet) und Wechseln des „Memory Stick Duo“ müssen drinnen bei niedriger Luftfeuchtigkeit ausgeführt werden.
- Werfen Sie dieses Teil nicht ins Wasser.
- Verwenden Sie diese dieses Teil nicht in den folgenden Situationen:
  - Heiße und feuchte Plätze.
  - Wassertemperaturen über 40˚C.
  - Temperaturen unter 0˚C.

  Ansonsten kann sich Kondenswasser bilden, Wasser eindringen und die Kamera beschädigt werden.
- Verwenden Sie dieses Teil nicht länger als jeweils 30 Minuten bei Temperaturen über 35˚C.
- Achten Sie darauf, die Kamera beim Entnehmen oder Einsetzen in dieses Teil nicht fallenzulassen.
- Lassen Sie dieses teil nicht über längere Zeit an heißen Orten mit hoher Luftfeuchtigkeit im direkten Sonnenlicht liegen. Schützen Sie dieses Teil gegebenenfalls mit einem Handtuch o.ä. vor direktem Sonnenlicht.
- Die Kamera erhitzt sich, wenn sie längere Zeit in diesem Teil verwendet wird. Bevor Sie die Kamera aus diesem Teil nehmen, lassen Sie dieses Teil eine Zeit lang im Schatten oder an einem kühlen Ort liegen, damit es abkühlen kann.
- Wenn sich die Kamera überhitzt, kann sie automatisch ausschalten, oder es können Fehlfunktionen bei der Filmaufnahme auftreten. Zum erneuten Verwenden der Kamera lassen Sie sie eine Weile zum Abkühlen an einem kühlen Ort liegen.
- Verwenden Sie dieses Teil nicht in Tiefen von mehr als 1,5 m.

Wenn Sonnenöl auf dieses Teil gelangt ist, waschen Sie es sorgfältig mit lauwarmem Wasser ab.
Wenn dieses Teil mit Sonnenöl auf der Oberfläche liegengelasen wird, kann dazu führen, dass sich das Gehäuse verfärbt oder beschädigt wird (beispielsweise durch Risse).

Bei einem Wasserleck
Falls Wasser eindringt, nehmen Sie dieses Teil sofort aus der nassen Umgebung.
Wenn die Kamera nass geworden ist, bringen Sie sie zum nächsten Sony-Fachhändler.
Reparaturen sind kostenpflichtig.

Handhabung des O-Rings

Was ist ein O-Ring?
Der O-Ring ① stellt den wasserdichten Abschluss dieses Teils und anderer Gehäuse sicher. (Siehe Abbildung A)

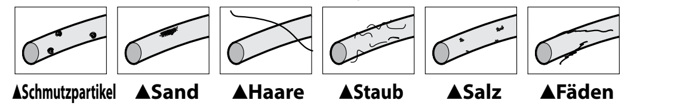
Der O-Ring muss richtig gewartet werden. Wird der O-Ring nicht entsprechend den Anweisungen gewartet, kann Wasser eindringen und das Teil sinken.

Handhabung des O-Rings

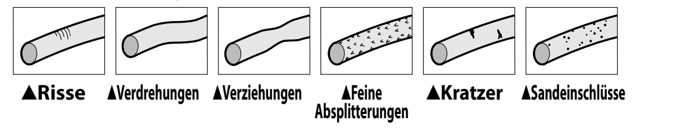
Einpassen des O-Rings
Setzen Sie den O-Ring nicht an Orten ein, die Staub und Sand ausgesetzt sind.

1 **Nehmen Sie den O-Ring ① heraus. (Siehe Abbildung B)**
- Zum Herausnehmen des O-Rings drücken Sie leicht auf den Ring und schieben Sie ihn in Pfeilrichtung, wie in der Abbildung gezeigt. Der O-Ring hat dann genug Spiel und kann leicht herausgenommen werden.
  Achten Sie sorgfältig darauf, den O-Ring nicht mit den Fingernägeln zu verkratzen.
- Verwenden Sie zum Herausnehmen des O-Rings keine spitzen Gegenstände und keine Metallgegenstände. Ansonsten kann die Nut dieses Teils oder der O-Ring verkratzt und beschädigt werden.

2 **Überprüfen Sie den O-Ring.**
- Überprüfen Sie sorgfältig im Hinblick auf Folgendes. Falls Fremdkörper vorhanden sind, wischen Sie sie mit einem weichen Tuch oder Tissuepapier ab.
  - Sind Schmutzpartikel, Sand, Haare, Staub, Salz, Fäden usw. am O-Ring?
  - Befindet sich altes Fett auf dem O-Ring?



- Ziehen Sie den O-Ring vorsichtig durch Ihre Fingerspitzen, um ihn auf unsichtbare Schmutzpartikel zu überprüfen.
- Vergewissern Sie sich nach dem Reinigen, dass keine Fasern vom Tuch oder Papier auf dem O-Ring haften.
- Vergewissern Sie sich, dass der O-Ring keine Risse, keine Absplitterungen, keine Abschabungen und keine Sandeinschlüsse usw. enthält und nicht verdreht oder verzogen ist.



3 **Überprüfen Sie die O-Ring-Nut.**
Manchmal können Sandkörner oder Salzkristalle in die Nut gelangen. Entfernen Sie solche Fremdkörper mit einem Luftspray oder wischen Sie sie mit einem Wattestäbchen ab. Achten Sie sorgfältig darauf, dass keine Fasern vom Wattestäbchen zurückbleiben.

4 **Überprüfen Sie auf gleiche Weise die Kontaktfläche gegenüber dem O-Ring.**

5 **Setzen Sie den O-Ring in die Nut dieses Teils ein.**
Setzen Sie den O-Ring gleichmäßig unter Beachtung der folgenden Punkte in die Nut ein:
- Der O-Ring darf nicht verschmutzt sein.
- Der O-Ring darf nicht verdreht sein. (Siehe Abbildung C)

Überprüfen des O-Rings
Vor dem Einsetzen der Kamera in dieses Teil schließen Sie es und tauchen es dann etwa 3 Minuten lang ca. 15 cm in Wasser ein und überprüfen Sie, ob Wasser eindringt.

Wartung
Wenn sich Meereswasser in der O-Ring-Nut befindet, können sich beim Trocknen dieses Teils Salzkristalle bilden und die Funktion des O-Rings beeinträchtigen.

Lebensdauer des O-Rings
Die Lebensdauer des O-Rings hängt von der Verwendungshäufigkeit und den Einsatzbedingungen dieses Teils ab. Im allgemeinen hält er etwa ein Jahr.
Auch wenn der O-Ring keine Risse und Kratzer aufweist, kann der wasserdichte Abschluss nach längerem Betrieb beeinträchtigt sein, da der O-Ring sich verformt hat oder abgenutzt ist. Wenn der O-Ring Risse, Abschürfungen, Kratzer, Sandeinschlüsse usw. aufweist oder wenn er verdreht oder verzogen ist, muss er ausgewechselt werden.
Überprüfen Sie nach dem Auswechseln, dass kein Wasser eindringt.

Trockenmittel
- Setzen Sie das mitgelieferte Trockenmittel eine oder zwei Stunden vor der Aufnahme in dieses Teil.
- Bewahren Sie das unbenutzte Trockenmittel in der Originaltasche auf und halten Sie diese gut verschlossen.
- Bei richtigem Trocknen des Trockenmittels kann es etwa 200 Mal verwendet werden.

O-Ring und Trockenmittel
Sie erhalten den O-Ring und das Trockenmittel bei Ihrem Sony-Händler.
O-Ring (Modell-Nr. 4-116-279-0□)
Trockenmittel (Modell-Nr. 4-134-464-0□)

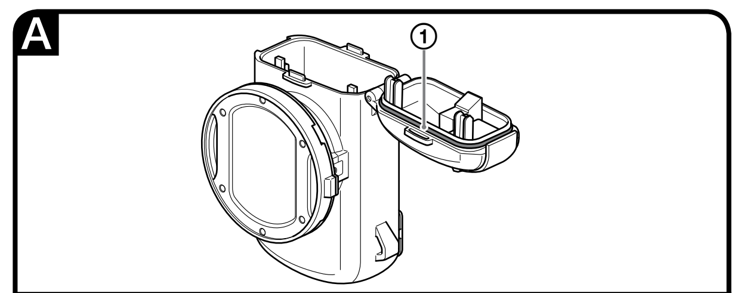
Wartung

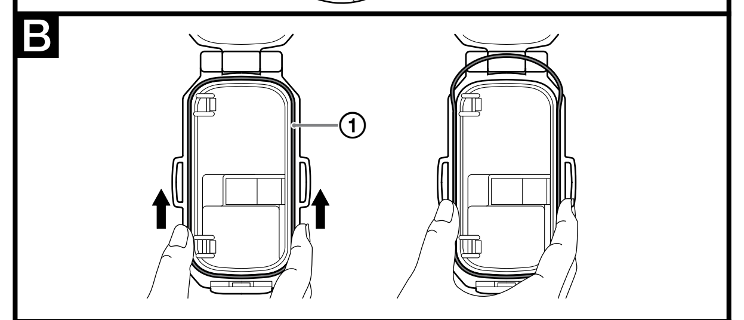
- Nachdem Sie in Meeresluft aufgenommen haben, waschen Sie dieses Teil sorgfältig mit geschlossenem Deckel mit Süßwasser ab, um Salz und Sand zu entfernen. Trocknen Sie anschließend das Sports Pack mit einem weichen Tuch ab.
- Wenn Sonnenöl auf dieses Teil gelangt ist, waschen Sie es sorgfältig mit lauwarmem Wasser ab.
- Reinigen Sie das Innere dieses Teils mit einem weichen, trockenen Tuch. Verwenden Sie hierbei kein Wasser.

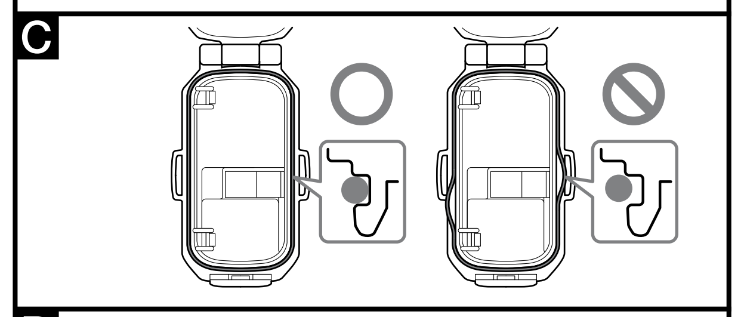
Die obigen Wartungsarbeiten müssen nach jedem Einsatz dieses Teils ausgeführt werden.
Verwenden Sie zum Reinigen keine Lösungsmittel wie Alkohol, Benzin oder Verdünner, da diese Materialien die Oberfläche dieses Teils angreifen.

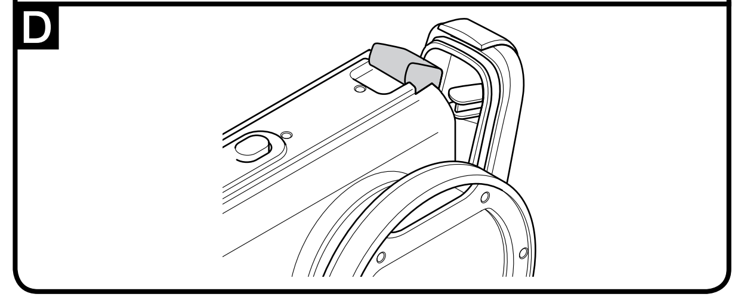
Aufbewahren dieses Teils
- Bringen Sie das mitgelieferte Abstandsstück an diesem Teil an, um eine Abnutzung des O-Rings zu verhindern. (Siehe Abbildung D)
- Legen Sie das Abstandsstück zum Aufbewahren dieses Teils bereit.
- Sorgen Sie dafür, dass der O-Ring nicht verstaubt.
- Bewahren Sie dieses Teil nicht an sehr kalten, sehr warmen oder feuchten Plätzen und auch nicht an Plätzen auf, die Naphthalin oder Kampher ausgesetzt sind, da sonst das Gehäuse angegriffen wird.

(Fortsetzung auf der Rückseite.)









Deutsch

(Fortsetzung von der Vorderseite.)

Fehlersuche

Symptom	Ursache/Abhilfe
Es sind Wassertropfen im Inneren des Teils.	• Der O-Ring ist verkratzt oder spröde. → Ersetzen Sie den O-Ring durch einen neuen. • Der O-Ring ist nicht richtig eingesetzt. → Setzen Sie den O-Ring gleichförmig in die Nut ein. • Der Deckel ist nicht fest geschlossen. → Schließen Sie den Deckel, bis er mit Klickgeräusch einrastet. • Das Trockenmittel ist nicht ausreichend getrocknet. → Verwenden Sie richtig getrocknetes Trockenmittel.
Es kann nicht aufgenommen werden.	• Der Akku ist leer. → Laden Sie den Akku auf. • Der „Memory Stick Duo“ ist voll. → Setzen Sie einen anderen „Memory Stick Duo“ ein oder löschen Sie nicht verwendete Daten. • Der Schreibschutzschieber am „Memory Stick Duo“ ist auf LOCK gestellt. → Stellen Sie den Schieber auf Aufnahmestellung oder setzen Sie einen neuen „Memory Stick Duo“ ein. • Die Kamera erhitzt sich. → Lassen Sie die Kamera eine Weile zum Abkühlen an einem kühlen Ort liegen.

Italiano

Precauzioni

- Non urtare violentemente il vetro anteriore poiché si potrebbe rompere.
- Non aprire la custodia impermeabile APK-WB (di seguiti semplicemente chiamata “**custodia**”) nelle vicinanze dell’acqua o mentre è immersa. Le varie operazioni di preparazione quali l’installazione della fotocamera digitale (d’ora in avanti semplicemente chiamata “**fotocamera**”) e la sostituzione della scheda “Memory Stick Duo” devono essere svolte in un ambiente interno poco umido.
- Non gettare la custodia in acqua.
- Non usare la custodia nelle seguenti condizioni:
  - In luoghi molto caldi o umidi
  - In acqua a temperatura superiore a 40°C
  - A temperature inferiori a 0°C

  In queste condizioni, infatti, la condensa dovuta all’umidità o le infiltrazioni d’acqua potrebbero danneggiare la fotocamera.
- A temperature superiori a 35°C la custodia non dovrebbe essere usata per più di 30 minuti alla volta.
- Fare attenzione a non lasciar cadere la fotocamera durante l’inserimento e la rimozione dalla custodia.
- Non lasciare per lungo tempo la custodia esposta direttamente al sole o comunque in un luogo molto caldo o umido. Qualora non si possa evitare di lasciarla in questa condizione la si dovrebbe almeno coprire con un asciugamano o riparare in altro modo.
- La fotocamera si riscalda quando la si usa a lungo nella custodia. Prima di rimuoverla si suggerisce di lasciare la custodia all’ombra o comunque in un luogo fresco affinché si raffreddi.
- Quando la fotocamera si surriscalda si può spegnere automaticamente oppure la funzione di registrazione può cessare di operare correttamente. Si potrà quindi riprendere a usarla in sicurezza una volta ripristinata alla normale temperatura.
- Non usare la custodia a profondità superiori a 1,5 metri.

Se sulla custodia si deposita dell’olio solare lo si deve rimuovere completamente con acqua tiepida.
Lasciandola in queste condizioni la superficie esterna si potrebbe scolorire o danneggiare a causa della comparsa di crepe.

Infiltrazioni d’acqua

Cessare immediatamente l’uso della custodia qualora si noti che vi è penetrata dell’acqua.
Se la videocamera si dovesse bagnare si raccomanda di rivolgersi immediatamente al più vicino rivenditore Sony.
Il costo delle riparazioni sarà tuttavia a carico dell’acquirente.

Uso della guarnizione a tenuta d’acqua

Cos’è la guarnizione a tenuta d’acqua?

È l’anello di gomma ① che impedisce all’acqua di penetrare nella custodia (come mostra l’illustrazione A).

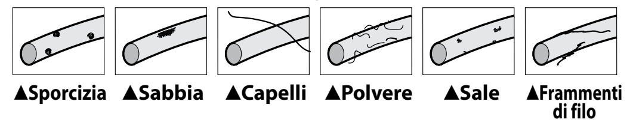
La manutenzione della guarnizione a tenuta d’acqua è molto importante. Se non la si sottopone a manutenzione secondo le istruzioni fornite l’acqua potrebbe infatti penetrare nella custodia causandone l’affondamento.

Uso della guarnizione a tenuta d’acqua

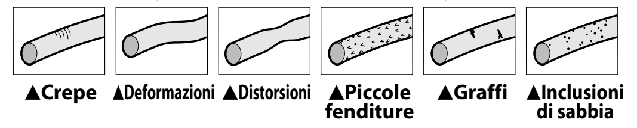
Inserimento della guarnizione

Non si deve procedere con l’inserimento della guarnizione mentre ci si trova in luoghi polverosi o sabbiosi.

1. **Rimuovere la guarnizione a tenuta d’acqua ① (come mostra l'illustrazione B).**
   - Per rimuovere la guarnizione occorre premerla lievemente e farla scorrere in direzione della freccia. Essa è sufficientemente allentata da poterla rimuovere con facilità.
     Occorre fare attenzione a non graffiare la guarnizione con le unghie.
   - Per rimuoverla non si devono usare oggetti appuntiti o metallici. Questi potrebbero infatti graffiare o comunque danneggiare la scanalatura della custodia o la guarnizione stessa.
2. **Controllare visivamente la guarnizione a tenuta d’acqua.**
   - In particolare occorre eseguire le verifiche di seguito riportate e, se necessario, asportare qualsiasi corpo estraneo con un panno morbido o un fazzoletto di carta:
     - Sulla guarnizione si sono depositati sporcizia, sabbia, capelli, polvere, sale, frammenti di filo o corpi estranei di altra natura?
     - Vi è del lubrificante vecchio sulla guarnizione?



   - Con la punta del dito verificare che attorno alla guarnizione non vi sia sporcizia occulta.
   - Dopo avere strofinato la guarnizione si raccomanda di verificare che non vi sia rimasta alcuna traccia di fibra di carta.
   - Verificare che la guarnizione non presenti crepe, deformazioni, distorsioni, piccole fenditure, graffi, inclusioni di sabbia e altre anomalie ancora. Se presenta crepe o graffi la si deve sostituire con una guarnizione nuova.



3. **Controllare visivamente la scanalatura in cui ha sede la guarnizione.**
   A volte nella scanalatura possono penetrare granelli di sabbia o di sale indurito. In tal caso li si deve rimuovere con un forte soffio d’aria o strofinando la guarnizione con un batuffolo di cotone. Dopo la pulizia ci si dovrà accertare che nella scanalatura non siano rimaste tracce di fibra di cotone.
4. **Analogamente ispezionare la superficie di contatto del lato opposto della guarnizione a tenuta d’acqua.**
5. **Inserire la guarnizione nella scanalatura della custodia.**
   La guarnizione deve essere inserita nella scanalatura in modo uniforme e accertandosi che:
   - Non abbia tracce di sporcizia.
   - Non sia deformata (come mostra l’illustrazione C).

Come ispezionare la guarnizione a tenuta d’acqua

Prima d’installare la fotocamera nella custodia si raccomanda di chiudere quest’ultima e d’immergerla quindi per circa tre minuti nell’acqua a una profondità di circa 15 cm prestando attenzione a qualsiasi eventuale infiltrazione.

Manutenzione

Se si lascia asciugare la custodia mentre nella scanalatura della guarnizione vi è ancora acqua di mare vi si potrebbero formare cristalli di sale che ne danneggerebbero l’integrità.

Durata della guarnizione a tenuta d’acqua

La durata della guarnizione a tenuta d’acqua varia con la frequenza e le condizioni d’uso della custodia. Generalmente è di circa un anno.
Anche se la guarnizione presenta crepe o graffi, qualsiasi deformazione e l’usura ne riducono la capacità impermeabile. Si raccomanda quindi di sostituirla non appena si notano crepe, deformazioni, distorsioni, piccole fenditure, graffi, inclusioni di sabbia o altre anomalie ancora.
Dopo la sostituzione ci si dovrà nuovamente accertare che nella custodia non penetri acqua.

Essiccante

- L’essiccante deve essere inserito una o due ore prima dell’uso della fotocamera.
- L’essiccante rimasto inutilizzato deve essere conservato nella confezione originale che dovrà essere quindi mantenuta ben chiusa.
- Lasciando asciugare adeguatamente l’essiccante lo si potrà riutilizzare circa 200 volte.

Acquisto della guarnizione a tenuta d’acqua e dell’essiccante

La guarnizione a tenuta d’acqua e l’essiccante possono essere acquistati presso il più vicino rivenditore Sony.
Guarnizione a tenuta d’acqua (articolo n. 4-116-279-0□)
Essiccante (articolo n. 4-134-464-0□)

Manutenzione

- Dopo aver eseguito riprese in luoghi battuti da brezza marina, mantenendone ben chiuso il coperchio si raccomanda di lavare a fondo la custodia con acqua dolce rimuovendo qualsiasi traccia di sale e di sabbia e, quindi, asciugarla con un panno morbido e asciutto.
- Se sulla custodia si deposita dell’olio solare lo si deve rimuovere completamente con acqua tiepida.
- Le zone interne della custodia devono essere pulite con un panno morbido e asciutto. Non le si deve lavare.

Le operazioni di manutenzione appena descritte devono essere eseguite dopo ogni uso della custodia.
Per pulirla, in particolare, non si devono usare solventi, alcol, benzina o diluenti, poiché tali sostanze potrebbero danneggiarne le superfici.

Conservazione della custodia

- Per evitare l’usura della guarnizione a tenuta d’acqua si suggerisce di applicarvi l’apposito distanziatore fornito in dotazione alla custodia (come mostra l’illustrazione D).
- Mentre la custodia non è in uso il distanziatore deve essere mantenuto rimosso.
- Si deve evitare qualsiasi accumulo di polvere sulla guarnizione a tenuta d’acqua.
- Si deve inoltre evitare di conservare la custodia in un luogo freddo, molto caldo o umido oppure in presenza di naftalina o canfora, poiché in queste condizioni si potrebbe danneggiare.

Risoluzione dei problemi

Sintomo	Cause e azioni correttive
Nella custodia vi sono gocce d’acqua.	• Sulla guarnizione a tenuta d’acqua vi sono graffi o crepe. → Sostituire la guarnizione con una nuova. • La guarnizione a tenuta d’acqua non è correttamente inserita. → Sistemare la guarnizione uniformemente nell’apposita scanalatura. • Il coperchio non è ben chiuso. → Chiudere il coperchio sino ad avvertirne lo scatto. • L’essiccante non è ben asciutto. → Si deve usare esclusivamente essiccante ben asciutto.
La funzione di registrazione non opera.	• La batteria è scarica. → Ricaricare completamente la batteria. • La scheda “Memory Stick Duo” non ha più spazio libero. → Inserire un’altra scheda “Memory Stick Duo” oppure cancellare i dati non più necessari. • Il selettore di protezione da scrittura della “Memory Stick Duo” è nella posizione LOCK. → Fare scorrere il selettore nella posizione di registrazione oppure inserire un’altra “Memory Stick Duo”. • La fotocamera si surriscalda. → Lasciare raffreddare la fotocamera in un luogo fresco prima di riutilizzarla.

Português

Precauções

- Não sujeite o vidro da frente a choques intensos, pois o mesmo pode partir-se.
- Evite abrir esta caixa estanque APK-WB (referida abaixo como “**esta unidade**”) perto ou sobre água. A preparação, como, por exemplo, instalar a máquina fotográfica digital (referida abaixo como “**máquina**”) e trocar o “Memory Stick Duo”, deve ser feita dentro de casa e com baixa humidade.
- Não atire esta unidade para dentro de água.
- Evite utilizar esta unidade nas seguintes situações:
  - num local muito quente ou húmido;
  - submerso a água numa temperatura superior a 40 °C .
  - a uma temperatura inferior a 0 °C.

  Nestas situações, pode ocorrer condensação de humidade ou infiltração de água que danifiquem a máquina.
- Não utilize esta unidade por mais de 30 minutos de cada vez com temperaturas superiores a 35˚C.
- Tenha cuidado para não deixar cair a máquina quando a retirar ou introduzir nesta unidade.
- Não deixe esta unidade à luz directa do sol, num local muito quente e húmido, durante um longo período de tempo. Se não for possível evitar deixar esta unidade à luz directa do sol, certifique-se de que tapa esta unidade com uma toalha ou outra protecção.
- A máquina aquece se for utilizada dentro desta unidade por muito tempo. Antes de retirar a máquina desta unidade, deixe a unidade à sombra ou num local fresco durante algum tempo para arrefecer.
- Quando a máquina sobreaquecer, ela pode desligar-se automaticamente ou a gravação pode não funcionar correctamente. Para voltar a utilizar a máquina, deixe-a no local fresco durante algum tempo para arrefecer.
- Não utilize esta unidade a profundidades superiores a 1,5 m.

Se houver protector solar na unidade, lave bem a unidade com água morna.
Se ficar protector solar no corpo desta unidade, a superfície da mesma pode ficar descolorada ou danificada (por exemplo, com fendas na superfície).

Infiltração de água

Se, por acaso, entrar água, pare imediatamente a exposição desta unidade à água.
Se a máquina se molhar, leve-a imediatamente ao revendedor Sony mais próximo.
Os custos da reparação serão de conta do cliente.

Manuseamento do O-ring

O que é o O-ring?

O O-ring ① garante a qualidade estanque desta unidade ou de outro equipamento (veja a Ilustração A).

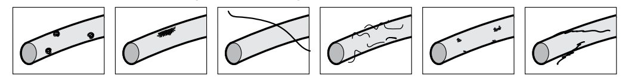
A manutenção do O-ring é de extrema importância. Se não realizar a manutenção do O-ring de acordo com as instruções, pode ocasionar uma infiltração de água e o afundamento desta unidade.

Manusear o O-ring

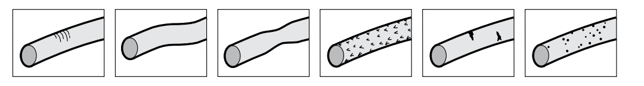
Instalar o O-ring

Evite instalar o O-ring em locais poeirentos ou arenosos.

1. **Retire o O-ring ① (Consulte a ilustração B)**
   - Para retirar o O-ring, pressione-o ligeiramente e deslize-o na direcção da seta, conforme ilustrado. O O-ring tem suficiente folga para poder ser facilmente removido.
     Tenha cuidado para não riscar o O-ring com a sua unha.
   - Não utilize um objecto pontiagudo ou metálico para remover o O-ring. Esse tipo de objecto pode riscar ou danificar a ranhura ou o O-ring desta unidade.
2. **Inspeccione o O-ring.**
   - Verifique com atenção para os seguintes pontos. Se houver os elementos indicados a seguir, limpe-os com um pano macio ou lenço de papel.
     - Há sujidade, areia, cabelo, pó, sal, fios, etc., no O-ring?
     - Há lubrificante antigo no O-ring?



   - Passe levemente a ponta do dedo por toda a circunferência do O-ring e verifique se há sujidade visível.
   - Tenha o cuidado de não deixar qualquer fibra de pano ou de lenço de papel no O-ring depois de o limpar.
   - Inspeccione o O-ring para detectar eventuais fendas, desvios, distorções, cortes finos, riscos, inclusão de areia, etc. Substitua o O-ring se ele estiver fendido ou riscado.



3. **Inspeccione a ranhura do O-ring.**
   Grãos de areia ou sal cristalizado infiltram-se às vezes na ranhura. Remova-os com cuidado, soprando com um pulverizador de ar ou limpando-os com uma cotonete. Tenha o cuidado de não deixar fibras da cotonete no interior.
4. **Inspeccione a superfície de contacto do outro lado do O-ring da mesma forma.**
5. **Encaixe o O-ring na ranhura desta unidade.**
   Encaixe o O-ring de forma uniforme na ranhura, prestando atenção aos seguintes pontos:
   - Verifique se há sujidade no O-ring.
   - Certifique-se de que o O-ring não está torcido (Consulte a ilustração C)

Como verificar o O-ring

Antes de instalar a máquina nesta unidade, feche a unidade e mergulhe-a em água até uma profundidade de cerca de 15 cm, durante cerca de três minutos, e certifique-se de que não entra água.

Manutenção

Se esta unidade secar com resíduos de água do mar na ranhura do O-ring, formam-se cristais de sal que podem prejudicar a função do O-ring.

Vida útil do O-ring

A vida útil do O-ring varia de acordo com a frequência de utilização desta unidade e as condições. Em termos gerais, a vida útil é de cerca de um ano.
Mesmo que um O-ring não esteja rachado nem riscado, a deformação ou o desgaste reduz as suas qualidades de estanquidade. Substitua o O-ring por outro, caso encontre rachas, desvios, distorções, cortes finos, riscos, inclusão de areia, etc.
Após a substituição, certifique-se de que não ocorre infiltração de água.

Dessecante

- Coloque o dessecante fornecido no interior desta unidade uma ou duas horas antes de fotografar.
- Quando não utilizado, guarde o dessecante no saco original e mantenha o saco firmemente fechado.
- Se secar o dessecante adequadamente, pode utilizá-lo cerca de 200 vezes.

O-ring e dessecante

Pode obter o O-ring e o dessecante no revendedor Sony mais próximo.
O-ring (modelo no. 4-116-279-0□)
Dessecante (modelo no. 4-134-464-0□)

Manutenção

- Depois de gravar em locais com brisa marinha, lave bem esta unidade com água doce, com a tampa fechada, para remover o sal e areia, limpando-a depois com um pano macio seco.
- Se houver protector solar na unidade, lave bem a unidade com água morna.
- Limpe o interior desta unidade com um pano macio seco. Não lave o interior desta unidade.

Certifique-se de que executa os pontos de manutenção acima indicados sempre que utilizar esta unidade.
Não utilize qualquer tipo de solvente, por exemplo, álcool, benzina ou diluente de limpeza, pois pode danificar o acabamento da superfície desta unidade.

Quando guardar esta unidade

- Fixe o espaçador fornecido com esta unidade para evitar o desgaste do O-ring (veja a Ilustração D).
- Coloque à parte o espaçador utilizado para guardar esta unidade.
- Evite a acumulação de pó no O-ring.
- Evite guardar esta unidade num local frio, muito quente ou húmido ou juntamente com naftalina ou cânfora, pois estas condições podem danificar a unidade.

Resolução de problemas

Sintoma	Causa/Acções correctivas
Há gotas de água no interior desta unidade.	• Há riscos ou fendas no O-ring. → Substitua o O-ring por um novo. • O O-ring não está correctamente instalado. → Coloque o O-ring de forma uniforme na respectiva ranhura. • A tampa não está bem fechada. → Feche a tampa até ouvir um estalido. • O dessecante não está devidamente seco. → Utilize o dessecante devidamente seco.
A função de gravação não funciona.	• A bateria não tem carga. → Carregue totalmente a bateria. • O “Memory Stick Duo” está cheio. → Introduza outro “Memory Stick Duo” ou apague dados desnecessários do “Memory Stick Duo”. • A patilha de protecção contra gravação no “Memory Stick Duo” está na posição trancada. → Coloque a patilha na posição de gravação ou introduza outro “Memory Stick Duo”. • A máquina aquece. → Deixe a máquina num local fresco durante algum tempo para arrefecer.

Русский

Меры предосторожности

- Не подвергайте переднее стекло сильным ударам, поскольку оно может треснуть.
- Избегайте открывания данного водонепроницаемого футляра APK-WB (далее именуемого как “**устройство**”) рядом с водой или в воде. Такую подготовку, как установка цифровой фотокамеры (далее именуемой как “**камера**”) и замена карты памяти “Memory Stick Duo” необходимо проводить внутри помещения с низкой влажностью.
- Не бросайте данное устройство в воду.
- Избегайте использования данного устройства в следующих условиях:
  - в месте с очень высокой температурой или влажностью.
  - в воде с температурой выше 40˚C.
  - при температуре ниже 0˚C.

  В таких условиях возможна конденсация влаги или протечка воды и повреждение камеры.
- При температуре выше 35˚C не используйте данное устройство дольше 30 минут без перерыва.
- Будьте осторожны, чтобы не уронить камеру во время ее извлечения или установки в данное устройство.
- Не оставляйте данное устройство под воздействием прямого солнечного света в месте с очень высокой температурой и влажностью в течение продолжительного времени. Если оставления данного устройства под воздействием прямого солнечного света невозможно избежать, необходимо обязательно накрыть его полотенцем или другим защитным средством.
- При использовании камеры внутри данного устройства в течение длительного времени она будет нагреваться. Перед извлечением камеры из данного устройства, оставьте его на некоторое время для остывания в тени или другом прохладном месте.
- В случае перегрева камеры она может автоматически выключиться или запись может быть нарушена. Чтобы снова использовать камеру, оставьте ее на некоторое время для остывания в прохладном месте.
- Не используйте данное устройство на глубине больше 1,5 м.

При попадании на данное устройство масла для загара обязательно полностью смойте его с помощью теплой воды.
Если оставить данное устройство с маслом для загара на корпусе, это может привести к обесцвечиванию или повреждению поверхности данного устройства (например, появлению на его поверхности трещин).

Протечка воды

В случае протечки воды немедленно извлеките данное устройство из воды.
При попадании влаги на камеру немедленно обратитесь к ближайшему дилеру Sony.
Расходы по выполнению ремонта несет покупатель.

Уход за уплотнительным кольцом

Что представляет собой уплотнительное кольцо?

Уплотнительное кольцо ① обеспечивает водонепроницаемость данного устройства или другого оборудования. (См. рисунок A)

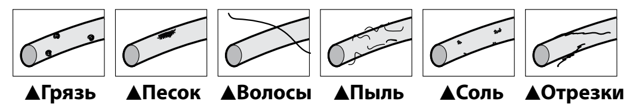
Уход за уплотнительным кольцом является очень важным. Невыполнение правильного ухода за уплотнительным кольцом в соответствии с инструкциями может привести к протечке воды и затоплению данного устройства.

Уход за уплотнительным кольцом

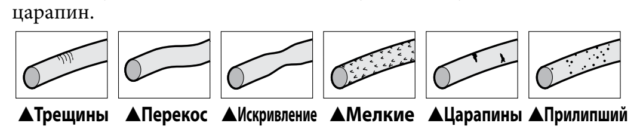
Установка уплотнительного кольца

Избегайте выполнения установки уплотнительного кольца в местах, загрязненных пылью или песком.

1. **Снимите уплотнительное кольцо ①. (См. рисунок B)**
   - Для снятия уплотнительного кольца слегка нажмите на него и сдвиньте в направлении стрелки, как показано на рисунке. Уплотнительное кольцо обладает достаточным люфтом для легкого снятия.
     Будьте осторожны, чтобы не поцарапать уплотнительное кольцо ногтем.
   - Не используйте для снятия уплотнительного кольца остроконечный или металлический предмет. Такие предметы могут поцарапать или повредить канавку данного устройства или уплотнительное кольцо.
2. **Осмотрите уплотнительное кольцо.**
   - Тщательно проверьте отсутствие следующих загрязнений. В случае обнаружения сотрите их мягкой тканью или бумажной салфеткой.
     - Нет ли на уплотнительном кольце грязи, песка, волос, пыли, соли, отрезков ниток и т.п.?
     - Нет ли на уплотнительном кольце остатков старой смазки?



   - Слегка касаясь кончиком пальца, проведите им по окружности уплотнительного кольца, чтобы проверить отсутствие незаметной грязи.
   - Будьте осторожны, чтобы после вытирания уплотнительного кольца не оставить на нем волокон ткани или бумажной салфетки.
   - Проверьте уплотнительное кольцо на отсутствие трещин, перекоса, искривления, мелких трещин, царапин, прилипшего песка и т.п. Замените уплотнительное кольцо в случае обнаружения трещин или царапин.



3. **Осмотрите канавку уплотнительного кольца.**
   Иногда в канавку попадают песчинки или затвердевшая соль. Тщательно удалите их с помощью продувки струей сжатого воздуха или сотрите ватной палочкой. Будьте осторожны, чтобы внутри не остались волокна ватной палочки.
4. **Точно так же осмотрите контактную поверхность с другой стороны уплотнительного кольца.**
5. **Установите уплотнительное кольцо в канавку данного устройства.**
   Равномерно установите уплотнительное кольцо в канавку, внимательно следя за следующим:
   - Проверьте отсутствие грязи на уплотнительном кольце.
   - Проверьте, что уплотнительное кольцо не перекручено. (См. рисунок C).

Проверка уплотнительного кольца

Перед установкой камеры в данное устройство, закройте его и погрузите в воду на глубину около 15 см примерно на три минуты и проверьте отсутствие протечки воды.

Уход за спортивным футляром

Если дать данному устройству высохнуть с оставшейся морской водой в канавке уплотнительного кольца, это приведет к образованию кристаллов соли, которые могут ухудшить эффективность использования уплотнительного кольца.

Срок годности уплотнительного кольца

Срок годности уплотнительного кольца зависит от частоты и условий использования данного устройства. Обычно он составляет около одного года.
Даже если на уплотнительном кольце нет трещин или царапин, деформация и изнашивание приводят к снижению его водонепроницаемости. В случае обнаружения трещин, перекоса, искривления, мелких трещин, царапин, прилипшего песка и т.д. замените уплотнительное кольцо новым.
После замены проверьте на отсутствие протечки воды.

Влагопоглотитель

- Поместите прилагаемый влагопоглотитель внутрь данного устройства за один-два часа до съемки.
- Храните неиспользованный влагопоглотитель в оригинальной упаковке и держите ее плотно закрытой.
- В случае правильного высушивания влагопоглотителя его можно использовать около 200 раз.

Уплотнительное кольцо и влагопоглотитель

Уплотнительное кольцо и влагопоглотитель можно приобрести у ближайшего дилера Sony.
Уплотнительное кольцо (модель № 4-116-279-0□)
Влагопоглотитель (модель № 4-134-464-0□)

Уход за спортивным футляром

- После записи в месте воздействия морского ветра тщательно промойте данное устройство в пресной воде с закрытой крышкой, чтобы удалить соль и песок, а затем протрите мягкой сухой тканью.
- При попадании на данное устройство масла для загара обязательно полностью смойте его с помощью теплой воды.
- Очищайте внутреннюю поверхность данного устройства с помощью мягкой сухой ткани. Не промывайте внутреннюю поверхность данного устройства.

Обеспечивайте вышеописанный уход при каждом использовании данного устройства.
Не используйте для очистки растворители, такие как спирт, бензин или разбавитель, поскольку это может привести к повреждению покрытия поверхности данного устройства.

Во время хранения данного устройства

- Прикрепите прокладку, прилагаемую к данному устройству, чтобы предохранить уплотнительное кольцо от изнашивания. (См. рисунок D)
- Установите прокладку во время хранения данного устройства.
- Предохраняйте уплотнительное кольцо от накопления на нем грязи.
- Избегайте хранения данного устройства в холодном, очень горячем или влажном месте, либо вместе с нафталином или камфарой, поскольку такие условия могут привести к повреждению данного устройства.

Поиск и устранение неисправностей

Возможная неисправность	Вероятная причина/Метод устранения
Внутри данного устройства присутствуют капли воды.	• На уплотнительном кольце имеются царапины или трещины. → Замените уплотнительное кольцо новым. • Уплотнительное кольцо установлено неправильно. → Равномерно уложите уплотнительное кольцо в канавку. • Крышка не закрыта надежно. → Закройте крышку до щелчка. • Влагопоглотитель не высушен правильно. → Используйте правильно высушенный влагопоглотитель.
Функция записи не работает.	• Аккумулятор разряжен. → Полностью зарядите аккумулятор. • Карта памяти “Memory Stick Duo” заполнена. → Установите другую карту памяти “Memory Stick Duo” или удалите ненужные данные с карты памяти “Memory Stick Duo”. • Предохранитель для защиты от записи на карте памяти “Memory Stick Duo” установлен в положение LOCK. → Установите данный предохранитель в положение записи или вставьте новую карту памяти “Memory Stick Duo”. • Камера перегрелась. → Оставьте камеру на некоторое время для остывания в прохладном месте.

Изготовитель: Сони Корпорейшн
Адрес: 1-7-1 Конан, Минато-ку,
Токио, 108-0075 Япония
Страна-производитель: Япония

中文（繁）

使用須知

- 切勿讓前防護鏡遭受強烈撞擊，否則前防護鏡可能會破裂。
- 請避免在靠近水處或水中打開本防水殼 APK-WB（以下簡稱“**本產品**”）。 請務必在低濕度之處進行準備工作，例如安裝數位相機（以下簡稱“**相機**”）及更換“Memory Stick Duo”。
- 切勿將本產品扔到水中。
- 避免在下列環境中使用本產品：
  - 非常炎熱或潮濕的地方。
  - 溫度高於 40 ℃的水中。
  - 溫度低於 0 ℃的地方。

  在這些環境中可能會發生濕氣凝結或漏水，並會破壞本設備。
- 在高於 35 ℃的溫度下使用本產品時，一次請勿超過半小時。
- 請小心不要在取出或裝入本產品時掉落相機。
- 請勿將本產品長時間放在陽光直射或高溫潮濕的地方。 如果無法避免將本產品放在陽光直射的地方，請務必用毛巾或其他防護用品覆蓋本產品。
- 長時間將相機裝入本產品使用後，相機的溫度會升高。 將相機從本產品取出之前，請先將本產品置於陰涼處一段時間，以便冷卻。
- 相機過熱時，可能會自動關閉，或導致錄製功能異常。 如需再次使用相機，請先將相機置於陰涼處，使其冷卻。
- 切勿在水深 1.5 公尺以下之處使用本產品。

如果本產品上沾有防曬油，請務必用溫水將其徹底沖洗乾淨。
如果任由防曬油留在本產品上，則本產品的表面可能會褪色或受損（例如，表面發生龜裂）。

漏水

如果發生漏水，請立即停止將本產品置於水中。
如果攝影機因故弄濕，請立即將其送到就近的 Sony 經銷商進行處置。
維修費需由用戶負擔。

防水密封墊使用須知

什麼是防水密封墊?

防水密封墊 ① 可確保本產品和其他設備的防水性能。（見圖 A）

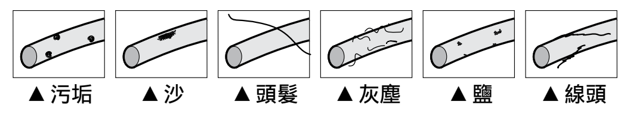
防水密封墊的維護非常重要。 不按照有關說明進行維護可能會導致漏水，造成本產品浸濕。

防水密封墊使用須知

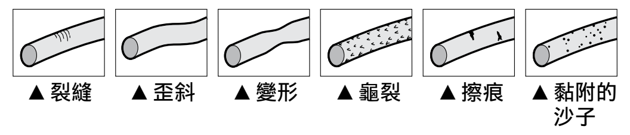
安裝防水密封墊

請避免在沙塵較多的地方安裝防水密封墊。

1. **取下防水密封墊 ①。 （見圖 B）**
   - 要取下防水密封墊，請輕按著防水密封墊並朝圖示的箭頭方向滑動。 防水密封墊足夠鬆弛，非常容易拆卸。
     請注意不要用指甲抓防水密封墊。
   - 切勿使用帶尖端的物品或金屬工具拆卸防水密封墊。 此類物品可能會刮破或破壞本產品的槽溝或防水密封墊。
2. **檢查防水密封墊。**
   - 仔細檢查以下內容。 如果發現，請用軟布或紙巾將其擦掉。
     - 防水密封墊上是否有污垢、沙、頭髮、灰塵、鹽、線頭等?
     - 防水密封墊上是否有舊的潤滑脂?



   - 輕輕用指尖撫摸防水密封墊，檢查是否有看不見的污垢。
   - 擦拭時請注意不要在防水密封墊上留下布或紙巾的纖維。
   - 檢查防水密封墊上是否有裂縫、歪斜、變形、龜裂、擦痕、黏附的沙子等。如果防水密封墊上有裂縫或擦痕，請予以更換。



3. **檢查防水密封墊的槽溝。**
   槽溝內有時會進入沙粒或硬化的鹽粒。 請輕輕用空氣噴吐器將其吹掉，或用棉毛棒將其擦掉。 請小心不要在裡面留下棉花棒的纖維。
4. **用同樣的方法檢查防水密封墊另一側的接合面。**
5. **將防水密封墊嵌入本產品的槽溝內。**
   將防水密封墊嵌入戶外包的槽溝內，並注意以下幾點：
   - 檢查防水密封墊上是否有污垢。
   - 檢查防水密封墊是否有扭曲現象。 （見圖 C）

如何檢查防水密封墊

將相機裝入本產品之前，請關上本產品，放入水深約 15 公分之處約三分鐘，然後檢查是否漏水。

維護

如果讓本產品在防水密封墊槽溝內留有海水的狀態下變乾，則鹽結晶可能會損壞防水密封墊的功能。

防水密封墊的使用壽命

防水密封墊的使用壽命依本產品的使用頻率和環境而異。 一般來說，使用壽命約為一年。
即使防水密封墊沒有裂縫或擦痕，變形或磨損也會降低其防水性能。 如果發現防水密封墊上有裂縫、歪斜、變形、龜裂、擦痕、黏附的沙子等，請予以更換。
更換後，請檢查是否漏水。

乾燥劑

- 請在拍攝前 1 或 2 小時放入隨附的乾燥劑。
- 將未使用的乾燥劑放入原包裝，然後繫緊。
- 只要正確烘乾乾燥劑，約能使用 200 次。

防水密封墊與乾燥劑

您可在最近的 Sony 經銷商購買防水密封墊與乾燥劑。
防水密封墊（型號：4-116-279-0□）
乾燥劑（型號：4-134-464-0□）

維護

- 在海風中進行錄製之後，請在護蓋蓋上的情況下用淡水徹底清洗本產品以除去鹽份和沙子，然後用柔軟的乾布擦拭。
- 如果本產品上面沾有防曬油，請務必用溫水將其徹底沖洗乾淨。
- 請用乾燥軟布清潔本產品的內部。 切勿對本產品的內部進行沖洗。

請務必在每次使用本產品時進行上述維護。
切勿使用任何如酒精、汽油或稀釋劑之類的溶劑進行清潔，否則可能會損壞本產品的表面塗層。

存放本產品時

- 請安裝本產品隨附的墊片以防止磨損防水密封墊。 （見圖 D）
- 請妥善保管墊片，以便將來存放本產品使用。
- 防止防水密封墊上堆積灰塵。
- 請勿將本產品存放在寒冷、過度炎熱或潮濕的地方，或與樟腦丸一起存放，否則會損壞本產品。

故障排除

問題	原因/修正措施
本產品內出現水滴時。	• 防水密封墊上有擦痕或裂痕。 → 更換新的防水密封墊。 • 防水密封墊裝嵌不當。 → 將防水密封墊均勻嵌入槽溝中。 • 護蓋未確實蓋上。 → 請蓋上護蓋，直至卡住定位。 • 乾燥劑未充分烘乾。 → 請使用充分烘乾的乾燥劑。
錄製功能無作用。	• 電池電力耗盡。 → 將電池充滿電。 • “Memory Stick Duo”空間已滿。 → 插入另一個“Memory Stick Duo”或清除“Memory Stick Duo”上不需要的資料。 • “Memory Stick Duo”上的防寫鎖設為 LOCK。 → 將防寫鎖設為錄製位置，或插入新的“Memory Stick Duo”。 • 相機溫度變高。 → 將相機置於陰涼處，等候冷卻。

한국어

취급상의 주의

- 유리에 금이 가는 원인이 되므로 강한 충격을 주지 마십시오.
- 물가나 물에서 본 방수 케이스 APK-WB(이하 "**본 기기**"라 함)를 열지 마십시오. 디지털 스틸 카메라(이하 "**카메라**"라 함)의 설치나 "Memory Stick Duo"의 변경과 같은 것은 습도가 낮은 실내에서 해야 합니다.
- 본 기기를 물에 던지지 마십시오.
- 다음과 같은 환경에서는 본 기기의 사용을 피해 주십시오:
  - 고온 다습한 장소
  - 40 ℃ 이상인 수중
  - 온도가 0 ℃ 미만인 장소

  상기 조건에서는 결로 현상이나 누수가 발생할 수 있으며 카메라가 손상될 염려가 있습니다.
- 35 ℃ 이상인 장소에서는 본 기기를 한 번에 30분 이상 사용하지 마십시오.
- 본 기기에 카메라를 넣거나 꺼낼 때에는 카메라를 떨어뜨리지 않도록 주의해 주십시오.
- 본 기기는 고온 다습한 곳의 직사광선하에 장시간 방치하지 마십시오. 본 기기를 직사광선이 닿는 장소에 두어야 하는 경우는 반드시 타월 또는 기타 보호장비 등으로 본 기기를 덮어 주십시오.
- 본 기기 안에서 카메라를 장시간 사용하면 카메라가 뜨거워집니다. 본 기기로부터 카메라를 꺼내기 전에 그늘이나 시원한 곳에 잠시동안 방치해서 냉각시켜 주십시오.
- 카메라가 과열되면 자동으로 전원이 꺼지거나 촬영에 오작동이 발생할 수 있습니다. 카메라를 다시 사용하려면 시원한 곳에 잠시동안 방치해서 냉각시켜 주십시오.
- 수심 1.5 m 이하인 곳에서는 본 기기를 사용하지 마십시오.

본 기기에 선 오일이 묻었을 때에는 반드시 미지근한 물로 깨끗이 닦아내십시오.
본 기기에 선 오일 등이 부착한 상태로 방치하면 본 기기의 표면이 변색 또는 손상(표면의 크랙 등)될 수 있습니다.

누수

물이 샐 때에는 본 기기를 즉시 물에 닿지 않도록 하십시오.
카메라가 젖었을 때에는 즉시 가까운 Sony 대리점으로 지참하여 주십시오.
수리 비용은 고객님 부담입니다.

O링의 취급

O링이란 무엇일까요?

O링①은 본 기기 및 그 밖의 기기의 방수 기능을 확보하는 것입니다. (그림 A 참조)

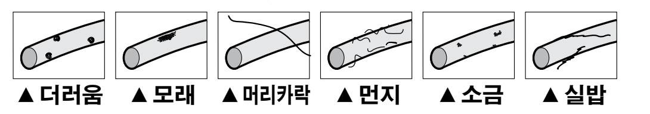
O링의 손질은 매우 중요합니다. O링을 설명대로 손질하지 않으면 물이 새서 본 기기가 물에 잠길 염려가 있습니다.

O링의 취급

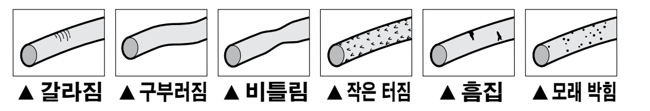
O링 끼우기

O링은 먼지나 모래가 많은 장소에서 끼우지 마십시오.

1. **O링①을 뺍니다. (그림 B 참조)**
   - O링을 뺄 때에는 그림과 같이 가볍게 누르면서 화살표 방향으로 밀어 주십시오. O링에는 여유가 있어서 간단히 뺄 수 있습니다.
     O링을 손톱으로 손상시키지 않도록 주의하십시오.
   - O링을 뺄 때 끝이 뾰족한 물건이나 금속은 사용하지 마십시오. 그런 물건은 본 기기의 홈이나 O링을 긁거나 손상할 염려가 있습니다.
2. **O링을 점검합니다.**
   - 다음과 같은 것들이 있는지 특히 주의해서 확인하여 주십시오. 있을 때에는 부드러운 헝겊이나 티슈 페이퍼로 닦아내십시오.
     - O링에 더러움이나 모래, 머리카락, 먼지, 소금, 실밥 등이 있습니까?
     - O링에 오래된 그리스가 남아있습니까?



   - O링을 손끝으로 가볍게 만져보고 눈에 보이지 않는 더러움이 없는지 확인하여 주십시오.
   - 닦아낸 후 O링에 헝겊이나 티슈 페이퍼의 섬유가 남아있지 않도록 주의하십시오.
   - O링에 갈라짐, 구부러짐, 비틀림, 작은 터짐, 흠집, 모래 박힘 등이 없는지 확인하여 주십시오. 갈라짐이나 흠집이 있을 때에는 O링을 교체하여 주십시오.



3. **O링 홈을 확인합니다.**
   홈에 모래알이나 소금 결정이 들어있는 경우가 있습니다. 에어 스프레이나 면봉으로 조심해서 제거하여 주십시오. 홈 안에 면봉의 섬유를 남기지 않도록 주의하십시오.
4. **O링의 반대쪽 접촉면도 같은 방법으로 확인합니다.**
5. **본 기기의 홈에 O링을 끼웁니다.**
   O링은 다음 사항에 주의해서 홈에 고르게 끼워 주십시오:
   - O링에 더러움이 없는지 확인합니다.
   - O링이 비틀리지 않았는지 확인합니다. (그림 C 참조)

O링 확인 방법

본 기기에 카메라를 설치하기 전에, 본 기기를 닫고 약 15 cm 깊이의 물에 약 3 분간 넣어서 물이 새지 않는지 확인해 주십시오.

손질법

O링의 홈에 바닷물이 남은 상태로 본 기기를 건조시키면 소금이 결정화되어 O링의 기능이 저하될 염려가 있습니다.

O링의 사용 수명

O링의 사용 수명은 본 기기의 사용 빈도와 사용 조건에 따라 달라집니다. 사용 수명은 일반적으로 약 1년입니다.
O링이 갈라지거나 손상되지 않은 경우라도 변형되거나 마모되면 방수 기능이 저하됩니다. 갈라짐, 구부러짐, 비틀림, 작은 터짐, 흠집, 모래 박힘 등이 있을 때에는 새 O링으로 교체하여 주십시오.
교체한 후에는 물이 새지 않음을 확인하여 주십시오.

건조제

- 부속된 건조제는 촬영하기 1~2 시간 전에 본 기기안에 넣어 주십시오.
- 남은 건조제는 처음에 들어있던 봉지에 넣고 봉지를 꼭 닫아 주십시오.
- 건조제를 잘 건조시키면 약 200회 사용할 수 있습니다.

O링 및 건조제

O링 및 건조제는 가까운 Sony 대리점에서 구하실 수 있습니다.
O링(모델 No. 4-116-279-0□)
건조제(모델 No. 4-134-464-0□)

손질법

- 바닷바람이 있는 장소에서 촬영한 후에는 커버를 닫은 채 본 기기를 담수에 넣고 깨끗이 닦아서 염분이나 모래 등을 제거한 후 마른 부드러운 헝겊으로 닦아내십시오.
- 본 기기에 선 오일이 묻었을 때에는 반드시 미지근한 물로 깨끗이 닦아내십시오.
- 본 기기 내부는 마른 부드러운 헝겊으로 닦아내십시오. 본 기기의 내부를 세척하지 마십시오.

본 기기는 사용할 때마다 반드시 상기 손질을 실시하여 주십시오.
알코올이나 벤진, 시너 등의 용제는 본 기기 표면이 손상될 염려가 있으므로 사용하지 마십시오.

본 기기를 보관하는 경우

- 본 기기에 부속된 스페이서를 장착해서 O링이 마모되는 것을 방지하여 주십시오. (그림 D 참조)
- 본 기기를 보관하기 위해서 스페이서를 챙겨 두십시오.
- O링에 먼지 등이 끼지 않도록 하십시오.
- 본 기기는 손상될 염려가 있으므로 저온이나 고온 다습한 장소에 보관하거나 나프탈린이나 장뇌 등과 함께 보관하지 마십시오.

고장일까? 하고 생각되면

증상	원인/해결책
본 기기 내부에 물방울이 있습니다.	• O링에 흠집이나 갈라짐이 있습니다. → 새 O링으로 교체하여 주십시오. • O링이 올바르게 끼워져 있지 않습니다. → O링을 홈에 고르게 끼워 주십시오. • 커버가 제대로 닫히지 않았습니다. → 커버가 고정되는 소리가 날 때까지 닫아 주십시오. • 건조제가 적절하게 건조되지 않았습니다. → 적절하게 건조된 건조제를 사용해 주십시오.
녹화 기능이 작동하지 않습니다.	• 배터리팩이 소모되어 있습니다. → 배터리팩을 만충전하여 주십시오. • "Memory Stick Duo"가 가득 차 있습니다. → 다른 "Memory Stick Duo"를 넣거나 "Memory Stick Duo"에서 필요없는 데이터를 소거하여 주십시오. • "Memory Stick Duo"의 쓰기방지 탭이 LOCK으로 설정되어 있습니다. → 탭을 쓰기 위치로 설정하거나 새 "Memory Stick Duo"를 삽입합니다. • 카메라가 가열되었습니다. → 카메라를 시원한 곳에 잠시동안 두어서 냉각시켜 주십시오.

عربي

تنبيهات احتياطية

- لا تعرض الزجاج الأمامي لصدمة قوية، حيث قد يؤدي ذلك إلى تصدعه.
- تجنب فتح هذا الصندوق المقاوم للماء APK-WB (يشار إليه فيما بعد بالمصطلح «هذه الوحدة») بالقرب من الماء. يجب أن تتم عملية الإعداد مثل تركيب كاميرا الصور الثابتة الرقمية (يشار إليها فيما بعد بالمصطلح «الكاميرا») وشريحة الذاكرة "Memory Stick Duo" داخل المباني ويجب أن تكون الرطوبة قليلة.
- لا ترمي هذه الوحدة في الماء.
- تجنب استعمال هذه الوحدة في الظروف التالية:
  - في مكان حار أو رطب جداً.
  - في ماء درجة حرارته أعلى من 40 درجة مئوية.
  - في بيئات تكون فيها درجة الحرارة أقل من 0 درجة مئوية.

  في هذه الظروف قد تتكثف الرطوبة أو يتسرب الماء وتتعرض الكاميرا للتلف.
- لا تستعمل هذه الوحدة أكثر من 30 دقيقة في المرة الواحدة في درجات حرارة تتجاوز 35 درجة مئوية.
- احرص على عدم سقوط الكاميرا عند اخراجها من وادخالها في هذه الوحدة.
- لا تترك هذه الوحدة تحت أشعة الشمس المباشرة في مكان شديد الحرارة وعالي الرطوبة لفترة زمنية طويلة. إذا لم تتمكن من تجنب ترك هذه الوحدة معرضة لأشعة الشمس المباشرة، تأكد من تغطيتها بمنشفة أو أداة حماية أخرى.
- ترتفع درجة حرارة الكاميرا إذا تم استعمالها داخل هذه الوحدة لفترة طويلة. قبل اخراج الكاميرا من هذه الوحدة، اترك هذه الوحدة في الظل أو في مكان آخر بارد لفترة قليلة لكي تبرد.
- عندما تصبح الكاميرا ساخنة، قد تنطفئ تلقائياً أو قد يحدث خلل في التسجيل. لاستعمال الكاميرا مرة أخرى، اتركها في مكان بارد لفترة قليلة لكي تبرد.
- لا تستعمل هذه الوحدة بعمق يتجاوز 1.5 متر.

إذا التصق كريم واقي من الشمس على هذه الوحدة، اغسلها بعناية مستخدماً ماء فاتر.
إذا ترك الكريم الواقي من الشمس على هيكلها، قد يتغير لون هذه الوحدة أو تتعرض للتلف (مثل تصدعات على السطح).

تسرب الماء

إذا تسرب الماء للداخل، توقف فوراً عن تعريض هذه الوحدة للماء.
إذا ابتلت الكاميرا، خذها إلى أقرب وكيل سوني Sony فوراً.
يجب ان يتحمل الزبون تكاليف التصليح.

التعامل مع الحلقة على شكل حرف O

ماهي الحلقة التي على شكل حرف O؟

الحلقة على شكل حرف O ① تضمن تحقيق مستويات عالية من مقاومة هذه الوحدة أو الأجهزة الأخرى للماء. (راجع الشكل التوضيحي A)

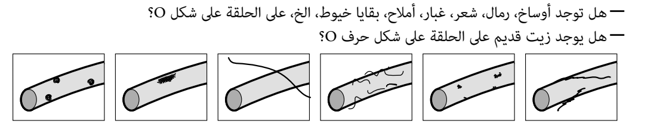
صيانة الحلقة على شكل حرف O مهمة جداً. الاخفاق في صيانة الحلقة على شكل حرف O وفقاً للتعليمات قد يؤدي إلى تسرب الماء مما يتسبب في غرق هذه الوحدة.

التعامل مع الحلقة على شكل حرف O

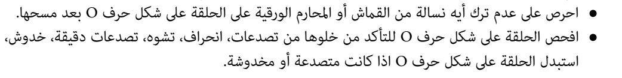
تركيب الحلقة على شكل حرف O

تجنب تركيب الحلقة على شكل حرف O في أماكن توجد فيها غبار أو رمال.

1. **قم بإخراج الحلقة على شكل حرف O ①. (راجع الشكل التوضيحي B)**
   - لاخراج الحلقة على شكل حرف O، اضغطها قليلاً واسحبها باتجاه السهم كما مبين في الشكل التوضيحي. الحلقة على شكل حرف O مرنة بمقدار كافٍ لاخراجها بسهولة.
     توخى الحذر كي لا تخدش الحلقة على شكل حرف O بأظافرك.
   - لا تستعمل شيء مدبب أو شيء معدني لاخراج الحلقة على شكل حرف O. هذا النوع من الأشياء قد يخدش أو يتلف أخدود هذه الوحدة أو الحلقة على شكل حرف O.
2. **افحص الحلقة على شكل حرف O.**
   - تحقق من النقاط التالية بدقة. إذا وجدت، امسحها بخرقة ناعمة أو محارم ورقية ناعمة.
     - هل توجد أوساخ، رمال، شعر، غبار، أملاح، بقايا خيوط، الخ. على الحلقة على شكل O؟
     - هل يوجد زيت قديم على الحلقة على شكل حرف O؟



   - قم بتمرير إصبعك على الحلقة على شكل حرف O بلطف للتأكد من عدم وجود أية غبار غير مرئية.
   - احرص على عدم ترك أية نسالة من القماش أو المحارم الورقية على الحلقة على شكل حرف O بعد مسحها.
   - افحص الحلقة على شكل حرف O للتأكد من خلوها من تصدعات، انحراف، تشوه، تصدعات دقيقة، خدوش، دقائق غبار، الخ. استبدل الحلقة على شكل حرف O اذا كانت متصدعة أو مخدوشة.



3. **افحص اخدود الحلقة على شكل حرف O.**
   تدخل حبيبات الرمال أو أملاح صلبة في الأخدود أحياناً. قم بإخراجها بحذر وذلك بنفخها ببخاخ هواء أو بمسحها بمنشفة قطنية. توخى الحذر كي لا تترك أي نسالة من المنشفة القطنية في الداخل.
4. **افحص سطح التلامس على الجانب الآخر من الحلقة على شكل حرف O بنفس الأسلوب.**
5. **قم بتركيب الحلقة على شكل حرف O في أخدود هذه الوحدة.**
   قم بتركيب الحلقة على شكل حرف O بشكل مستوي في الأخدود مع مراعاة النقاط التالية:
   - تأكد مما اذا توجد غبار على الحلقة على شكل حرف O.
   - تأكد من عدم التواء الحلقة على شكل حرف O. (راجع الشكل التوضيحي C)

كيفية فحص الحلقة على شكل حرف O

قبل تركيب الكاميرا في هذه الوحدة، اغلق هذه الوحدة واغمرها في الماء بعمق حوالي 15 سم لمدة ثلاث دقائق تقريباً وتأكد من عدم تسرب الماء إلى الداخل.

الصيانة

إذا سمحت لهذه الوحدة أن تجف مع وجود ماء البحر على أخدود الحلقة على شكل حرف O، ستتكون حبيبات ملح قد تعيق وظائف الحلقة على شكل حرف O.

عمر الحلقة على شكل حرف O القابل للخدمة

يختلف العمر القابل للخدمة للحلقة على شكل حرف O حسب تكرار استعمال هذه الوحدة وحسب الظروف. عموماً، يمكن استعمالها لمدة سنة واحدة تقريباً.
حتى لو لم تكن الحلقة على شكل حرف O متصدعة أو مخدوشة، سيؤدي التشويه أو الاهتراء إلى تقليل جودة مقاومتها للماء. استبدل الحلقة على شكل حرف O بأخرى جديدة إذا وجدت عليها تصدعات دقيقة، انحراف، تشوه، شقوق دقيقة، خدوش، دقائق غبار، الخ.
بعد الاستبدال، تأكد من عدم تسرب الماء للداخل.

مادة التجفيف

- ضع المادة المجففة المرفقة داخل هذه الوحدة لمدة ساعة واحدة أو ساعتين قبل التسجيل.
- قم بتخزين المتبقي من المادة المجففة غير المستعملة في الكيس الأصلي واحتفظ بالكيس مغلقاً بإحكام.
- بتجفيف المادة المجففة بشكل كافٍ، يمكن استعمالها بحدود 200 مرة تقريباً.

الحلقة على شكل حرف O والمادة المجففة

يمكن الحصول على الحلقة على شكل حرف O والمادة المجففة من أقرب وكيل سوني Sony.
الحلقة على شكل حرف O (رقم الموديل 4-116-279-0□)
المادة المجففة (رقم الموديل 4-134-464-0□)

الصيانة

- بعد التسجيل في مكان يهب فيه نسيم البحر، اغسل هذه الوحدة جيداً بماء نقي على أن يكون الغطاء مسدوداً وذلك لازالة الأملاح والرمال، ثم امسحها بخرقة جافة وناعمة.
- إذا التصق كريم واقي من الشمس على هذه الوحدة، اغسلها بعناية مستخدماً ماء فاتر.
- قم بتنظيف الجزء الداخلي من هذه الوحدة بخرقة جافة وناعمة. لا تغسل الجزء الداخلي من هذه الوحدة.

تأكد من اجراء الصيانة أعلاه كلما استعملت هذه الوحدة.
لا تستعمل أي نوع من المحاليل كالبنزين أو الثنر للتنظيف، حيث يمكن أن يؤدي ذلك إلى تلف طلاء سطح هذه الوحدة.

عند تخزين هذه الوحدة

- قم بتركيب الفاصل المرفق مع هذه الوحدة لتفادي اهتراء الحلقة على شكل حرف O. (راجع الشكل التوضيحي D)
- احتفظ بالفاصل لتخزين هذه الوحدة.
- لا تدع الغبار يتراكم على الحلقة على شكل حرف O.
- تجنب تخزين هذه الوحدة في مكان بارد أو حار جداً أو رطب، أو مع النفثالين أو الكافور، حيث يمكن أن تؤدي تلك الظروف إلى تلف الوحدة.

تحري الخلل واصلاحه

العرض	السبب/ الاجراءات التصحيحية
توجد قطرات ماء داخل هذه الوحدة.	• توجد خدوش أو تصدعات في الحلقة على شكل حرف O. ← استبدل الحلقة على شكل حرف O بأخرى جديدة. • عدم تركيب الحلقة على شكل حرف O بصورة صحيحة. ← ضع الحلقة على شكل حرف O في الأخدود بشكل مستوي. • عدم سد الغطاء بإحكام. ← سد الغطاء إلى أن تسمع طقة. • لم يتم تجفيف المادة المجففة بشكل كافٍ. ← استعمل مادة مجففة بشكل كافٍ.
لا تعمل وظيفة التسجيل.	• مجموعة البطارية فارغة الشحنة. ← اشحن مجموعة البطارية بشكل كامل. • شريحة الذاكرة "Memory Stick Duo" ممتلئة. ← قم بإدخال شريحة ذاكرة "Memory Stick Duo" أخرى أو امسح البيانات غير الضرورية من شريحة الذاكرة "Memory Stick Duo". • لسان الحماية من التسجيل على شريحة الذاكرة "Memory Stick Duo" مضبوط على وضع القفل LOCK. ← اضبط اللسان إلى وضع التسجيل أو قم بإدخال شريحة ذاكرة "Memory Stick Duo" جديدة. • الكاميرا ساخنة. ← اترك الكاميرا في مكان بارد لفترة لكي تبرد.